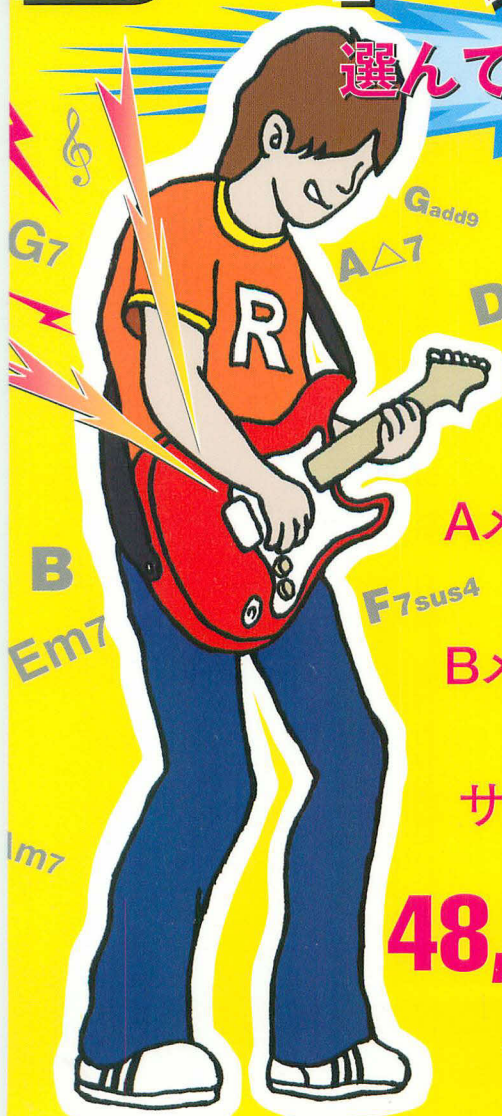
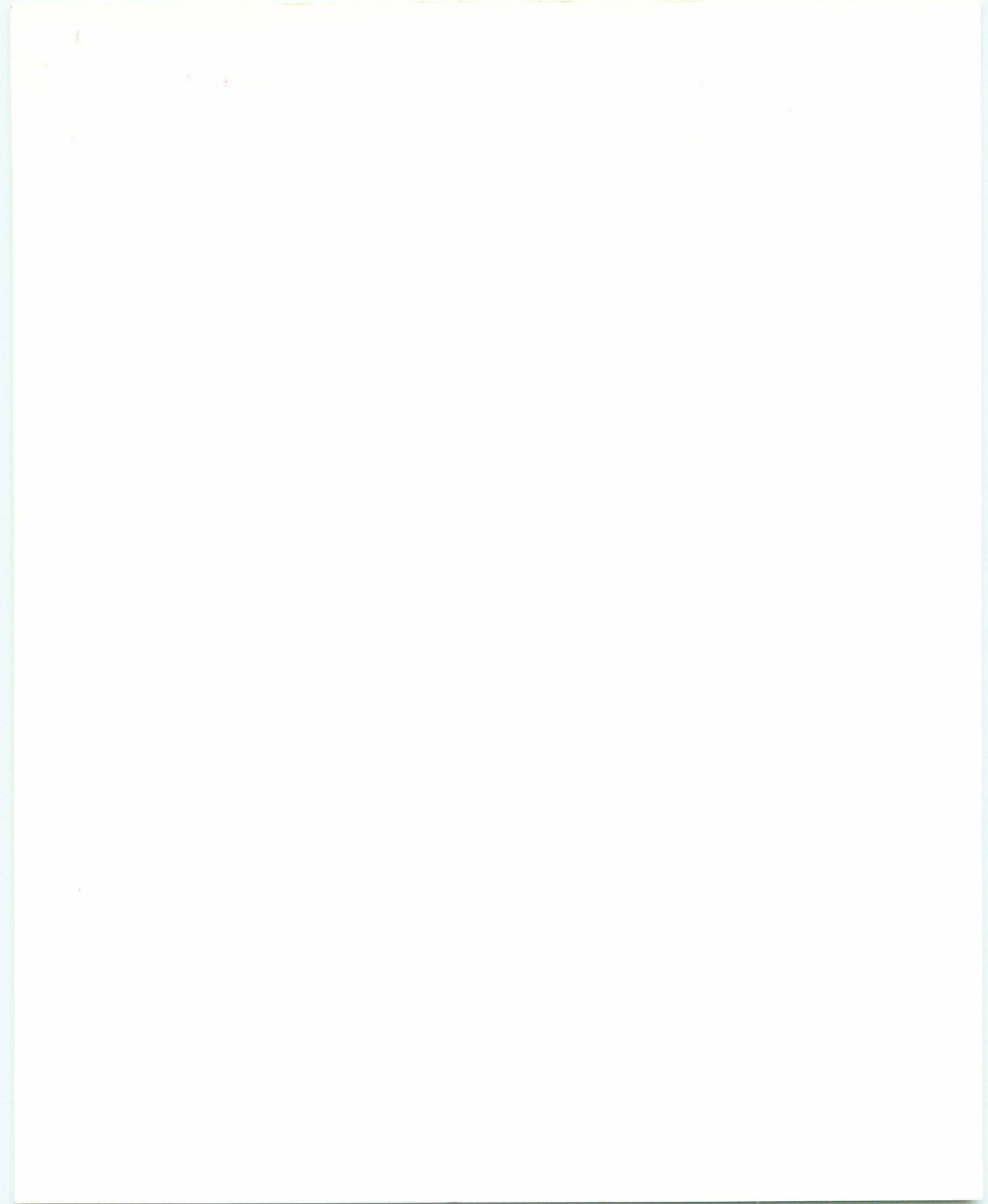
Guitar magazine
［ギター・マガジン］
Rittor Music
http://www.rittor-music.co.jp/
すぐ歌える
コード進行ネタ帳
選んでつなげて5万曲！
著 石沢功治
koji ishizawa
Aメロ40パターン
×
Bメロ30パターン
×
サビ40パターン
×αで
48,000通り以上の
コード進行を
すぐに作れる！

Guitar magazine ［ギター・マガジン］

すぐ歌えるコード進行ネタ帳

選んでつなげて5万曲！

著 石沢功治
koji ishizawa

RittorMusic

この本の使い方

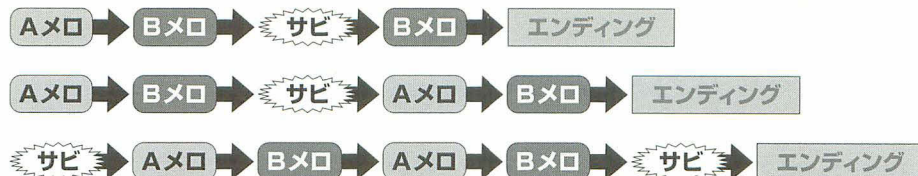
本書を使って作曲をするのはとっても簡単！
コード進行のパターンをいくつかピックアップして組み合わせるだけで
何万通りもの曲が作れるのだ。しかも、イメージだけで選べるので、
その日の気分や歌詞に合わせてどんどん作っていける！

1. A メロのコード進行を選ぶ
2. B メロのコード進行を選ぶ
3. サビのコード進行を選ぶ
4. 各パートごとに鼻歌でメロディと歌詞をつける
5. つなげて歌ってみて OK なら、曲全体の構成を整える
   必要ならばイントロや間奏、エンディングを付け加える
6. 曲が完成 !!

▶▶一般的な曲の構成はこんな感じ

Aメロ → Bメロ → サビ → Bメロ → エンディング

Aメロ → Bメロ → サビ → Aメロ → Bメロ → エンディング

サビ → Aメロ → Bメロ → Aメロ → Bメロ → サビ → エンディング

……など、自分なりの必勝パターンを見つけてみよう！

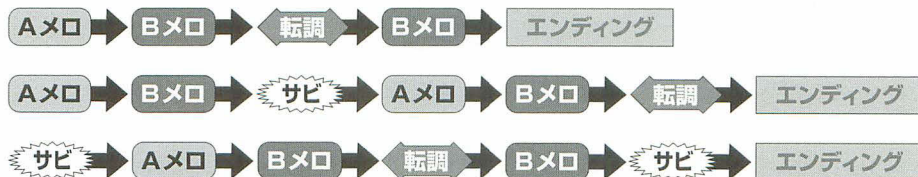
もっとバリエーションのある曲が作りたい時は！

➡ “転調”の章からコード進行を選んでみよう

▶▶“転調”を使った曲の構成例

Aメロ → Bメロ → 転調 → Bメロ → エンディング

Aメロ → Bメロ → サビ → Aメロ → Bメロ → 転調 → エンディング

サビ → Aメロ → Bメロ → 転調 → Bメロ → サビ → エンディング

……など、転調のコード進行はどこにでも入れられる！

オススメのコード進行

Aメロと B メロの各コード進行のページには、次に続けて弾くととってもスムーズに聴こえるオススメのコード進行が案内されている。もちろん、ここにとらわれず自由にコード進行をピックアップしてもらって OK なのだが、もし次に何を弾くか迷ったら、ぜひとも参考にしてもらいたい。

オススメの演奏法

本書のコード進行は好みによってどんな弾き方をしても良いのだが、一応、オススメの弾き方というものもある。各コード進行の特徴をうまく表現できる奏法をページの右上に示した。ガンガンかき鳴らすか、ポロロ～ンとつま弾くか、パラパラとアルペジオで弾くか……を、◎○△の３段階で表わしているのだ。

他のキーでのコード進行

気軽に弾けるように、メインで扱っているコード進行はキー＝ C または Am だけにしてある。歌を合わせづらいとか、気分を変えたいといった理由で別のキーにしたい時は、ページ下のコード進行を参考にしてもらいたい。この本ではキー＝ G、E と、キー＝ Em、Dm を各コード進行に捕捉した。

★このページで気になるイメージを探してみよう!

1 Aメロのコード進行

2 Bメロのコード進行

3 サビのコード進行

4 転調のコード進行

5 エンディングのコード進行

6 こんなに使える！　本書の実例集

COLUMN

Guitar magazine

Ａメロの
コード進行

A メロ 01

明るいコード進行

◎ かき鳴らす
○ つま弾く
◎ アルペジオ

メジャー・キーでの明るいコード進行の王道パターン。
シンプルだが使い道は幅広い。

Key=C

他のキーでは

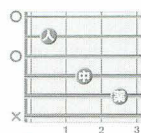
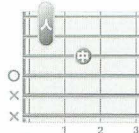
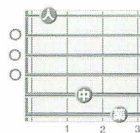
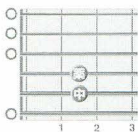
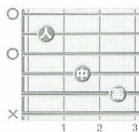
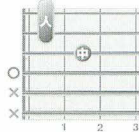
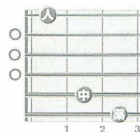
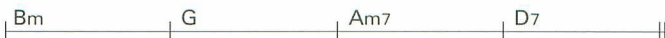
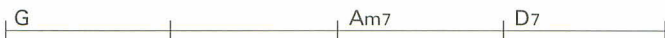
続けて弾くのにオススメ

▶ B メロ -01
▶ B メロ -06

Check!

Aメロ 02 楽しいコード進行

◎ かき鳴らす
△ つま弾く
◎ アルペジオ

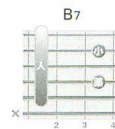
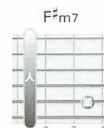
楽しさを演出するにはもってこいの進行だ。
Dm7→G7というパターンがカギになっている。

Key=C

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

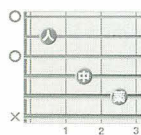
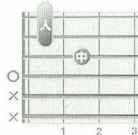
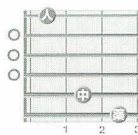
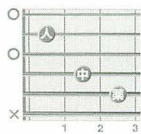
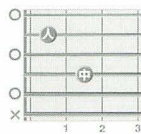
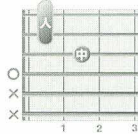
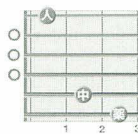
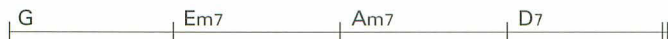
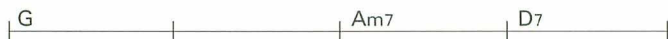
▶ Bメロ-02
▶ Bメロ-03

Check!

Aメロ 03

優しいコード進行

- ○ かき鳴らす
- ◎ つま弾く
- ◎ アルペジオ

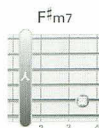
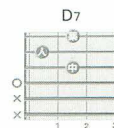
ストロークでも、アルペジオでもOK。後半４小節の進行は
ホイットニー・ヒューストンの「Saving All My Love For You」風。

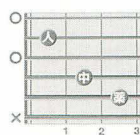
Key=C

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ Bメロ-03
▶ Bメロ-14

Check!

A メロ 04 力強いコード進行

◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
○ アルペジオ

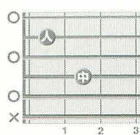
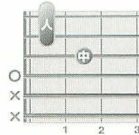
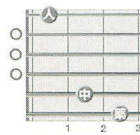
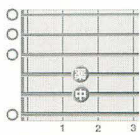
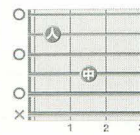
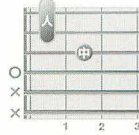
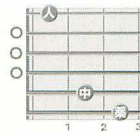
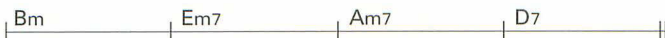
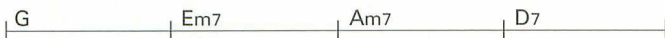
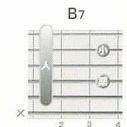
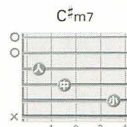
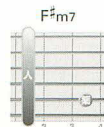
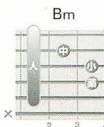
出だしのCと5小節目のEmの対比が力強さの象徴。
ポップス系からフォーク系まで広範囲に対応可能だ。

Key=C

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ Bメロ-03
▶ Bメロ-08

Check!

A メロ 05

夏っぽいコード進行

○	かき鳴らす
○	つま弾く
◎	アルペジオ

一見するとくり返しのようだがさにあらず。2小節目のAm7に対して、6小節目のA7がこの進行のアクセントになっている。

Key=C

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶Bメロ-03
▶Bメロ-08

Check!

◎ かき鳴らす
△ つま弾く
○ アルペジオ

前半４小節はふたつのコードのくり返し。
後半は一転して動きのある進行なのが特徴。

Check!

Aメロ 07

期待感を持たせるコード進行

◎ かき鳴らす
○ つま弾く
○ アルペジオ

ポイントは7小節目のサス・フォー・コード。
これが期待感を持たせているのだ。

Key=C

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ Bメロ-05
▶ Bメロ-12

Check!

朗らかなコード進行

◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

一見、なんてことのないシンプルな進行だが、
噛めば噛むほど味わいが出てくるぞ。

Key=C

他のキーでは

Check!

A メロ 09

ちょっと悲しげなコード進行

○ かき鳴らす
◎ つま弾く
○ アルペジオ

2小節目、3小節目、6小節目の3箇所で出てくる
マイナー・コードがちょっと悲しげなフィーリングを醸し出している。

Key=C

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ Bメロ-07

▶ Bメロ-15

Check!

A メロ 10 憂いを含んだコード進行

○	かき鳴らす
◎	つま弾く
◎	アルペジオ

何と言ってもラストのFmが特徴。
これによって憂いを含んだ感じになるのだ。

Key=C

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

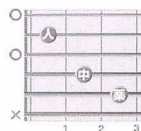
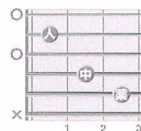
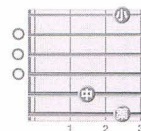
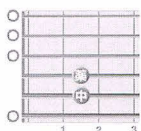
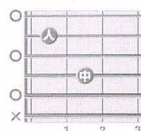
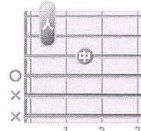
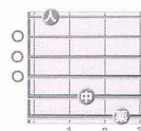
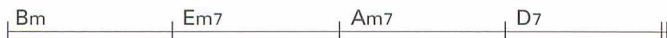
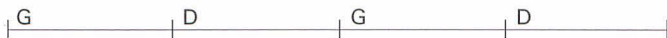
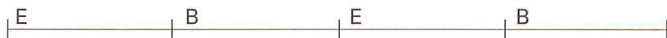
▶ Bメロ-08
▶ Bメロ-03

Check!

A メロ 11

青春っぽいコード進行

◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

メジャー・コードが軒を連ねる中、４小節目に一箇所だけFmが入っている。これが、青春の美しくもはかないところを表現している（？）。

Key=C

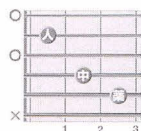
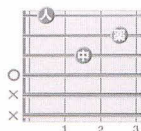
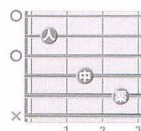
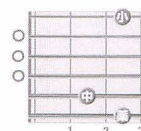
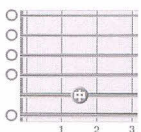
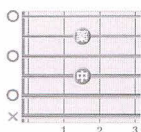
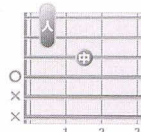
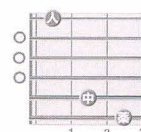
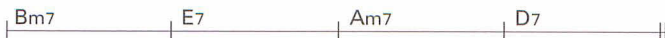
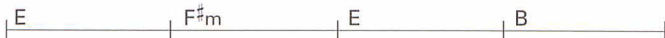
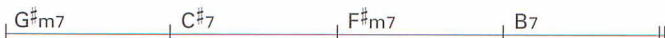
他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ Bメロ-04

▶ Bメロ-10

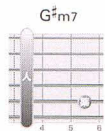
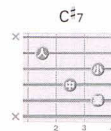
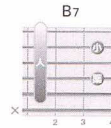
暖かいコード進行

ぽかぽか陽気の春の日差しを受けている自分をイメージして弾いてみよう。

Key=C

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ Bメロ-03
▶ Bメロ-11

Check!

A メロ 13

ブルージィなコード進行

○ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

2小節目のセブンス・コードがブルージィなニュアンスに一役買っている。

Key=C

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ Bメロ-09
▶ Bメロ-12

Check!

躍動感のあるコード進行

アルペジオで弾くのもいいが、
ストロークでガンガン弾くと躍動感がみなぎるぞ。

◎	かき鳴らす
△	つま弾く
○	アルペジオ

Key=C

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ Bメロ-10
▶ Bメロ-13

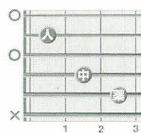
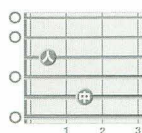
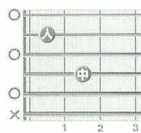
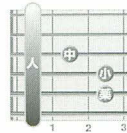
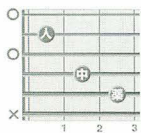
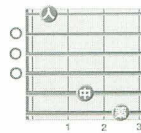
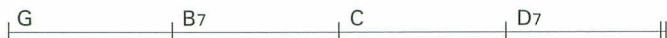
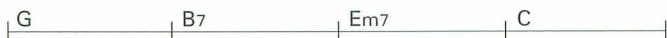
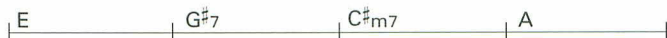
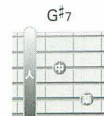
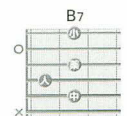
Check!

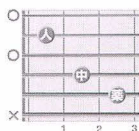
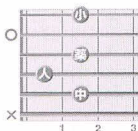
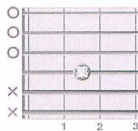
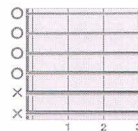
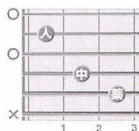
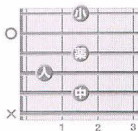
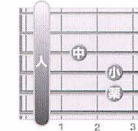
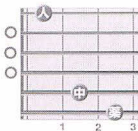
A メロ 15

落ちていくようなコード進行

◎ かき鳴らす
○ つま弾く
◎ アルペジオ

２小節目＆６小節目のE7がキモとなる進行。
フォーク系ご用達だが、もちろん他のジャンルでもOKだ。

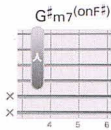
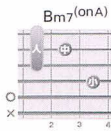
秋っぽいコード進行

○ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

途中でEマイナーに転調したかのような進行が、
枯葉の季節を思い起こさせる。

Key=C

他のキーでは

●Gメジャー

Check!

A メロ 17

嵐の前のコード進行

山崎まさよしの曲に登場しそうな進行だ。
コードは動いているものの、どこか静けさが漂う。

◯ かき鳴らす
◎ つま弾く
◯ アルペジオ

Key=C

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ Bメロ-11

▶ Bメロ-03

動きのあるコード進行

◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

6小節目まで低音の動きが下りてくるのが特徴。
ミスチルを始め、多くのアーティストが、動きを演出するときに愛用している。

Key=C

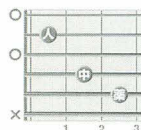
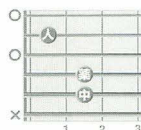
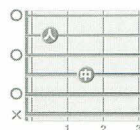
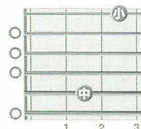
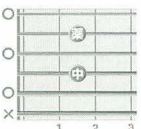
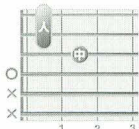
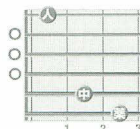
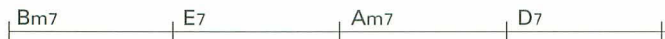
他のキーでは

Check!

A メロ 19

流れるような コード進行

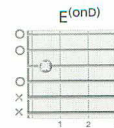
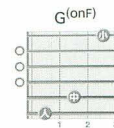
△ かき鳴らす
◎ つま弾く
○ アルペジオ

前半４小節は、低音が半音ずつ流れるように下がっていく。
３小節目のコードがなんともクール！

Key=C

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ Bメロ-14
▶ Bメロ-13

Check!

ナルシスティックなコード進行

○ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

3～4小節目とラスト7～8小節目、
コードが2拍ずつ変わっていくところに注目！

Key=C

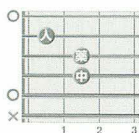
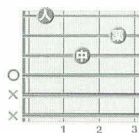
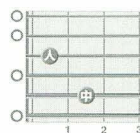
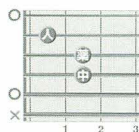
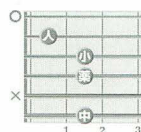
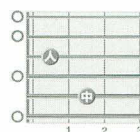
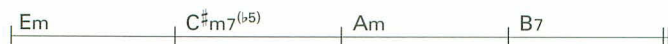
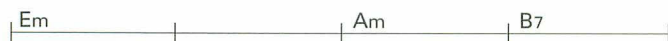
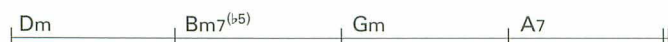
他のキーでは

Check!

A メロ 21

悲しいコード進行

◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

いわゆる“ど”がつくほど典型的なマイナー・パターン。
悲しい感じを表現するにはもってこいだ。

Key=Am

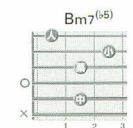
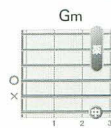
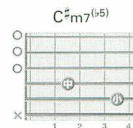
他のキーでは

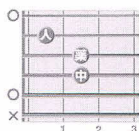
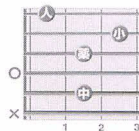
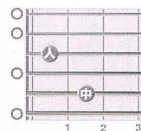
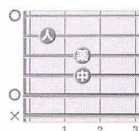
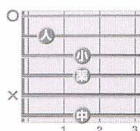
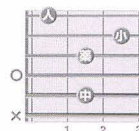
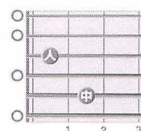
続けて弾くのにオススメ

▶ Bメロ-16

▶ Bメロ-17

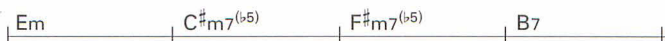
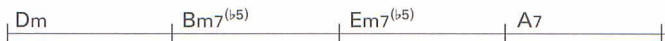
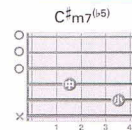
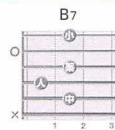
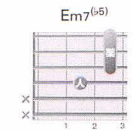
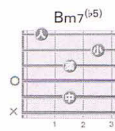
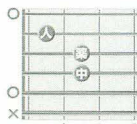
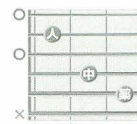
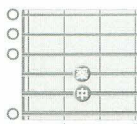
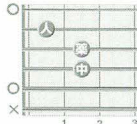
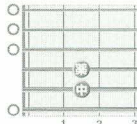
Check!

冬っぽいコード進行

○ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

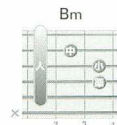
シンプルなマイナー進行だが、あてがうメロディによってはポップ系やフォーク系などにもなり、意外に用途は広い。

Key=Am

他のキーでは

Check!

Aメロ 23

明け方のようなコード進行

◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

アニマルズの名曲「朝日のあたる家」風。
コードCメジャーを挟むことによって、ちょっとだけ明るめになっている。

Key=Am

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ Bメロ-18
▶ Bメロ-25

Check!

木枯らしのようなコード進行

○ かき鳴らす
○ つま弾く
◎ アルペジオ

風に落ち葉が舞う木枯らしのイメージ。
5～6小節目の2拍ずつのコード展開がフックになっている。

Key=Am

他のキーでは

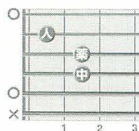
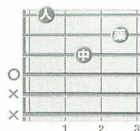
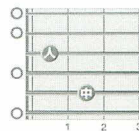
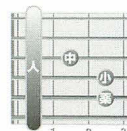
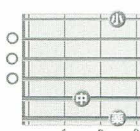
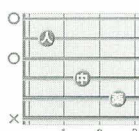
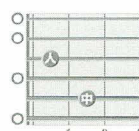
Check!

A メロ 25

希望が湧くコード進行

○ かき鳴らす
◎ つま弾く
○ アルペジオ

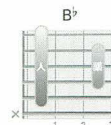
前半４小節はマイナー・コード、後半４小節はメジャー・コードが中心。このコントラストを活かしたメロディ作りを心掛けよう。

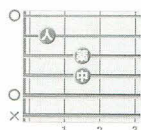
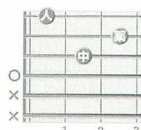
Key=Am

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ Bメロ-20

▶ Bメロ-24

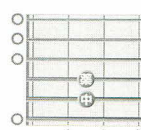
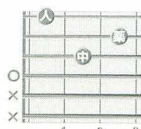
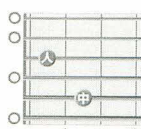
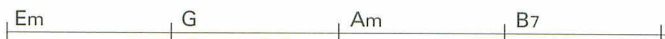
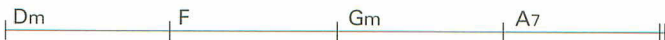
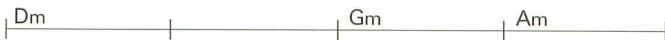
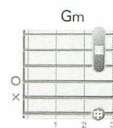
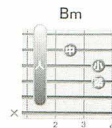
Check!

翳(かげ)りのあるコード進行

6小節目のCがなければ、単なる“ど”マイナーの進行。
このメジャー・コードが絶妙なアクセントとなっている。

Key=Am

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ Bメロ-18
▶ Bメロ-25

A メロ 27

演歌調のコード進行

△	かき鳴らす
◎	つま弾く
◎	アルペジオ

演歌では常套の進行だが、
意外と他にもシャンソンやジャズ系でもよく使われている。

Key=Am

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ B メロ -20
▶ B メロ -27

夕暮れ時のようなコード進行

△	かき鳴らす
○	つま弾く
◎	アルペジオ

イメージ的には、あたりがうっすらと暗くなってきた夕暮れ時。
マイナーの感じでもあり、メジャーの感じでもある。中間的な進行だ。

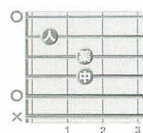
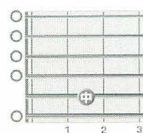
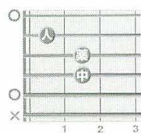
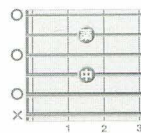
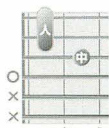
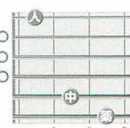
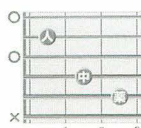
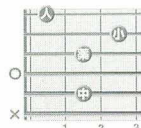
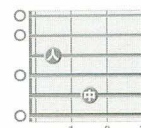
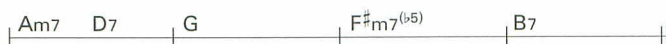
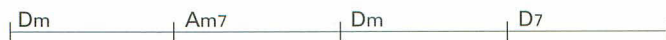
Key=Am

他のキーでは

Check!

A メロ 29 北風のようなコード進行

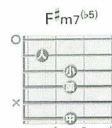
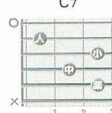
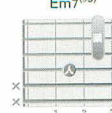
- ○ かき鳴らす
- ◎ つま弾く
- ○ アルペジオ

マイナー調の中、5～6小節目でCメジャーに一時的に転調しているのがミソ。

Key=Am

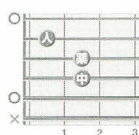
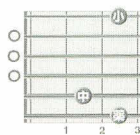
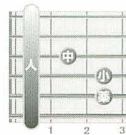
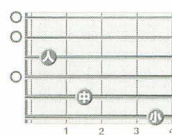
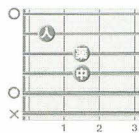
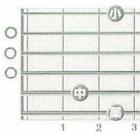
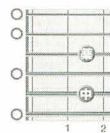
他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ Bメロ-22
▶ Bメロ-30

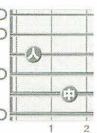
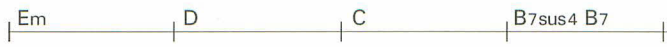
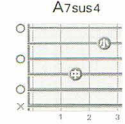
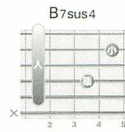
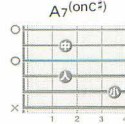
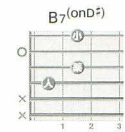
Check!

情熱的なコード進行

◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

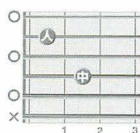
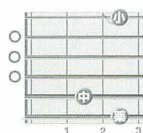
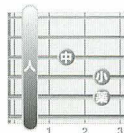
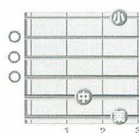
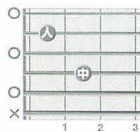
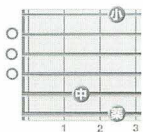
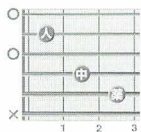
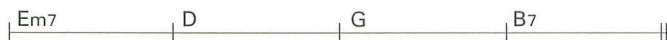
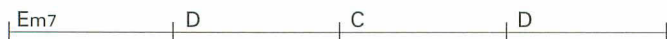
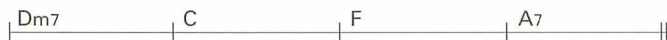
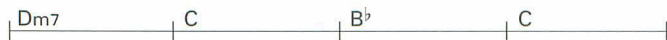
速いテンポからスローなバラードまで、幅広い曲調にマッチ。
情熱的な歌詞を乗せてみたい。

Key=Am

他のキーでは

Check!

A メロ 31

扉が開くようなコード進行

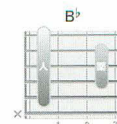
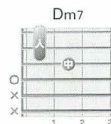
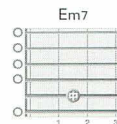
◎ かき鳴らす
△ つま弾く
○ アルペジオ

前半４小節はレッド・ツェッペリンの「天国への階段」の後半に登場する進行と似ている。ロック風にするのも一興だ。

Key=Am

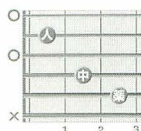
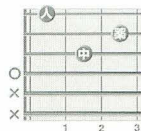
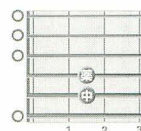
他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ Bメロ-19
▶ Bメロ-27

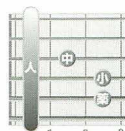
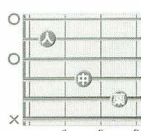
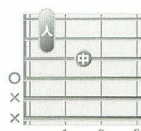
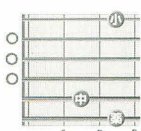
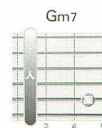
Check!

勇気が湧くコード進行

かき鳴らす ○
つま弾く ◎
アルペジオ ○

強めに弾けば存在感のある進行になるが、そっとつま弾いてもいい。
やさしい曲に仕上がるぞ。

Key=Am

他のキーでは

Check!

A メロ 33

危険な雰囲気のコード進行

- ◎ かき鳴らす
- ○ つま弾く
- ○ アルペジオ

ミスチルの曲に登場しそうな進行だ。
危うい雰囲気を演出するにはきっと重宝するはず。

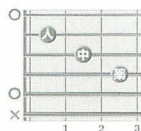
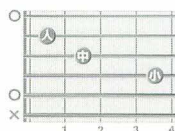
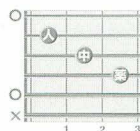
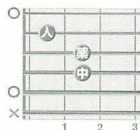
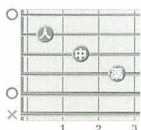
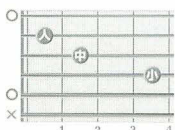
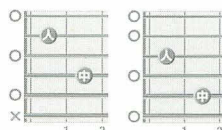
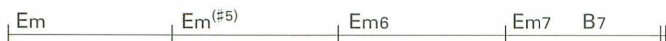
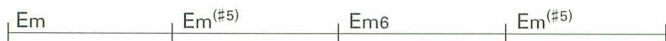
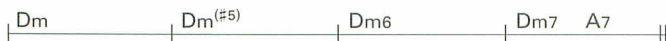
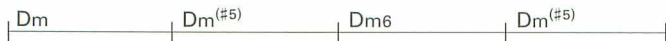
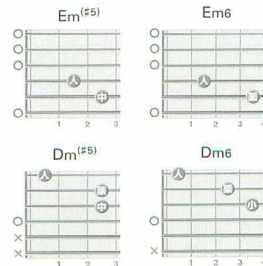
Key=Am

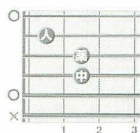
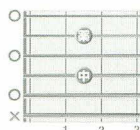
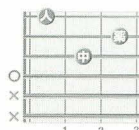
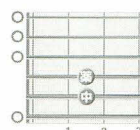
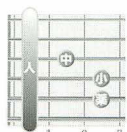
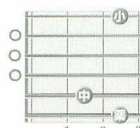
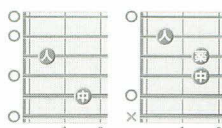
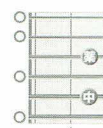
他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

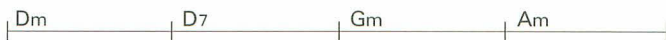
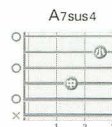
▶ Bメロ-23
▶ Bメロ-28

Check!

Aメロ 34 前向きなコード進行

○	かき鳴らす
◎	つま弾く
◎	アルペジオ

マイナー調でありながら、暗くないのが特徴。
こういったアプローチがうまいアーティストにスピッツやコブクロなどがいる。

Key=Am

他のキーでは

A メロ 35

不思議なコード進行

○	かき鳴らす
○	つま弾く
◎	アルペジオ

何といっても3小節目のコードB♭の持つ不思議な感覚がポイント。
ポップス風にもロック風にもできる、あとは君のセンス次第だ。

Key=Am

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ B メロ-25
▶ B メロ-18

Check!

B　E♭　B♭

A メロ 36 黄昏のコード進行

△	かき鳴らす
○	つま弾く
◎	アルペジオ

ストロークもいいが、アルペジオがやはりベスト・マッチング。
しっとりと弾いて、たそがれた感じを出そう。

Key=Am

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ Bメロ-26
▶ Bメロ-30

Check!

A メロ 37 旅立ちの朝のコード進行

○ かき鳴らす
○ つま弾く
◎ アルペジオ

心機一転これから頑張ろうとする旅もあれば、
傷ついた心を癒すための旅もある。さぁ、キミはどういった旅を演出する？

Key=Am

他のキーでは

続けて弾くのに オススメ

▶ Bメロ-27

▶ Bメロ-28

Check!

A
メロ
38

ハード・ボイルドなコード進行

○ かき鳴らす
△ つま弾く
◎ アルペジオ

目まぐるしく変わるコード進行だが、スローなテンポにすれば
そうは感じないはず。アルペジオでシブ～く迫ってみよう。

Key=Am

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ Bメロ-28
▶ Bメロ-19

Check!

Aメロ 39

哀愁を帯びたコード進行

△ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

夜明けの刑事（デカ）がタバコを一服。
人生の悲哀を背負った進行（？）。

Key=Am

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ Bメロ-29

▶ Bメロ-23

男気のあるコード進行

ゆずの曲にでも出てきそうな流れだ。3小節目のオン・コードの動きが、この進行をフットワークの軽いものにしている。

Key=Am

他のキーでは

Check!

イントロの作り方

この本では、イントロ専用のコード進行は収録していないので、ここでは簡単にイントロの作り方を解説しておきたい。イントロなしでＡメロやサビから始まる曲も多いので、全体の構成を考えてから、必要ならば以下の方法で作るのが簡単だ。

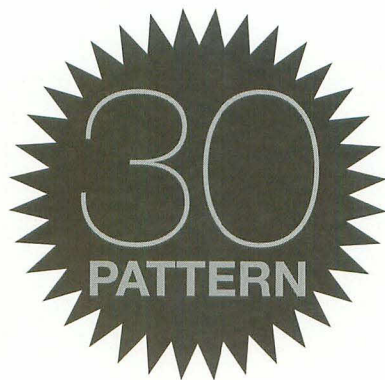
イントロに適したコード進行の作り方

1. Ａメロ（またはＢメロ）のコード進行を１回弾く
2. Ａメロ（またはＢメロ）のコード進行を後半の４小節だけ弾く
3. サビのコード進行を１回弾く
4. サビのコード進行を後半の４小節だけ弾く

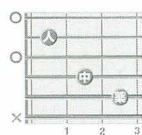
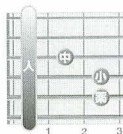
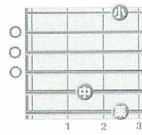
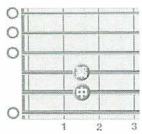
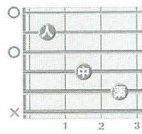
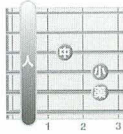
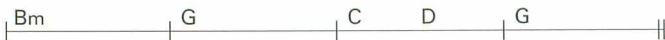
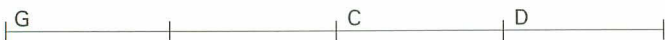
慣れてきたらいきなり転調のコード進行をぶつけてみて、意外性を演出するのも面白いだろう。なお、エンディングのコード進行は、あまり次のコード進行を求める力が強くないのでイントロには適していない。イントロによって曲の印象はかなり変わるが、曲そのものをいじるわけではないので気軽に変更できるはず。“付け替えできるパーツ”くらいの気持ちで、いろいろなパターンを試してみよう。

Guitar magazine

Bメロの
コード進行

B メロ 01

明るいコード進行

◎ かき鳴らす
○ つま弾く
◎ アルペジオ

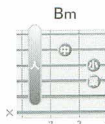
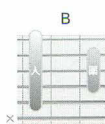
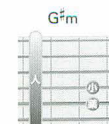
Aメロ-01とほぼ同じ進行。明るいコード進行の王道パターン。
シンプルだが使い道は幅広い。

Key=C

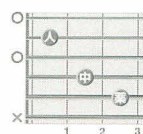
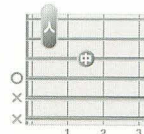
他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ サビ-01
▶ サビ-06

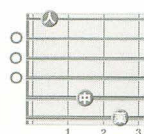
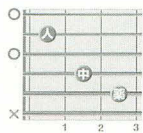
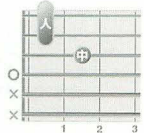
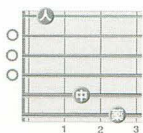
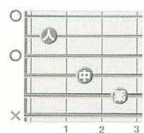
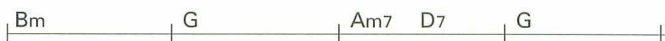
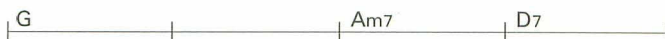
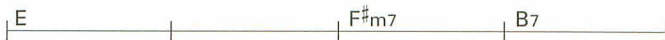
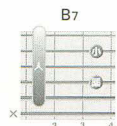
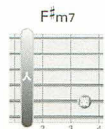
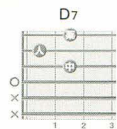
Check!

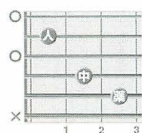
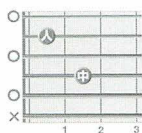
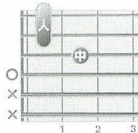
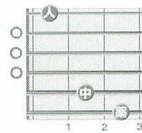
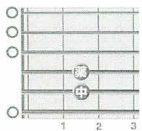
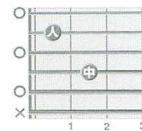
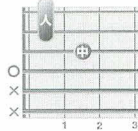
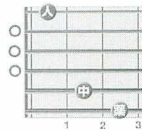
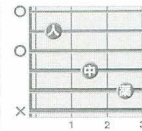
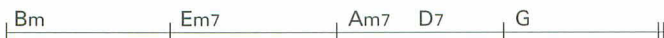
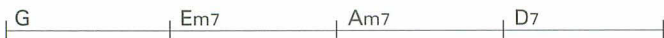
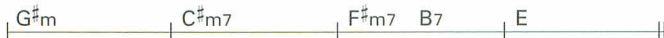
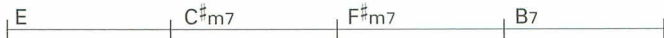
Bメロ 02 楽しいコード進行

◎ かき鳴らす
△ つま弾く
◎ アルペジオ

Aメロ-02とほぼ同じ進行。楽しさを演出するにはもってこいの進行だ。
Dm7→G7というパターンがカギ。

Key=C

他のキーでは

Check!

Bメロ 03 力強いコード進行

◎ かき鳴らす
○ つま弾く
◎ アルペジオ

Aメロ-04とほぼ同じ進行。ストロークよし、アルペジオよし。
守備範囲の広いフレキシブルさが売り。

Key=C

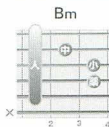
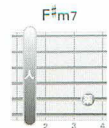
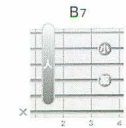
他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ サビ-12

▶ 転調-05

Check!

B メロ 04

春っぽいコード進行

◎ かき鳴らす
△ つま弾く
○ アルペジオ

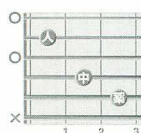
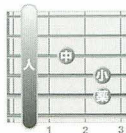
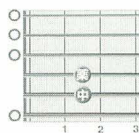
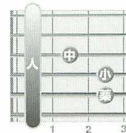
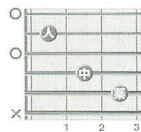
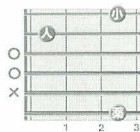
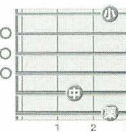
Aメロ-06とほぼ同じ進行。前半4小節はふたつのコードのくり返し。
後半は一転して動きのある進行なのが特徴。

Key=C

他のキーでは

Bメロ 05 期待感を持たせるコード進行

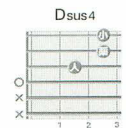
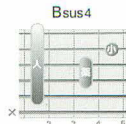
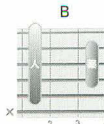
◎ かき鳴らす
○ つま弾く
○ アルペジオ

Aメロ-07とほぼ同じ進行。ポイントは7小節目のサス・フォー・コード。これが期待感を持たせている。

Key=C

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ サビ-05

▶ 転調-11

朗らかなコード進行

◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

Aメロ-08とほぼ同じ進行。なんてことないシンプルなパターンだが、それだけにどんなサビへも行ってもOK。

Key=C

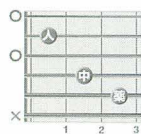
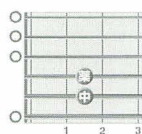
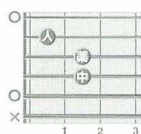
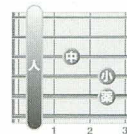
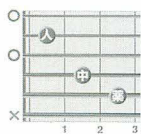
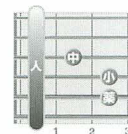
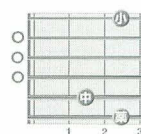
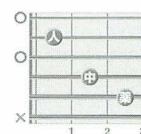
他のキーでは

Check!

B メロ 07

ちょっと悲しげなコード進行

Aメロ-09と似た進行。2小節目と3小節目で出てくるマイナー・コードがちょっと悲しげなフィーリングを醸し出している。

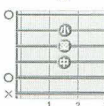
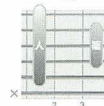
○ かき鳴らす
◎ つま弾く
○ アルペジオ

Key=C

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ サビ-07

▶ 転調-02

Check!

憂いを含んだコード進行

Aメロ-10とほぼ同じ進行。なんと言っても7小節目のFmが特徴。
これによって憂いを含んだ感じになる。

○ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

Key=C

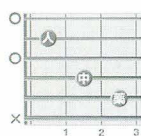
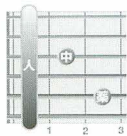
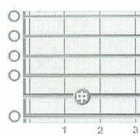
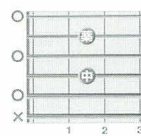
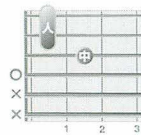
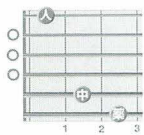
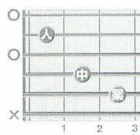
他のキーでは

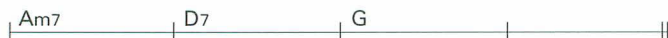
Check!

B メロ 09

ブルージィなコード進行

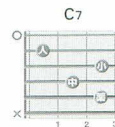
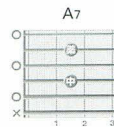
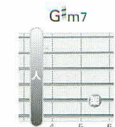
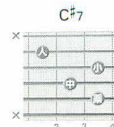
○ かき鳴らす
◎ つま弾く
△ アルペジオ

Aメロ-13とほぼ同じ進行。2小節目のセブンス・コードがブルージィなニュアンスに一役買っている。

Key=C

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ サビ-14

▶ サビ-19

Check!

躍動感のあるコード進行

Aメロ-14とほぼ同じ進行。アルペジオで弾くのもいいが、ストロークでガンガン弾くと躍動感がみなぎるぞ。

◎ かき鳴らす
△ つま弾く
○ アルペジオ

Key=C

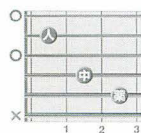
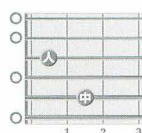
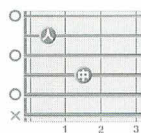
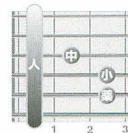
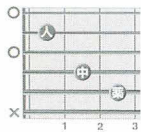
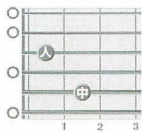
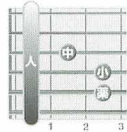
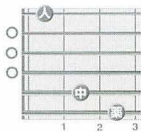
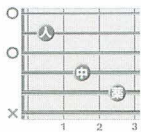
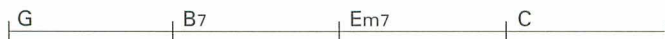
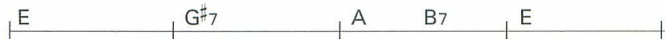
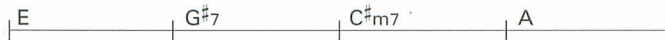
他のキーでは

Check!

B メロ 11

落ちていくようなコード進行

◎ かき鳴らす
○ つま弾く
◎ アルペジオ

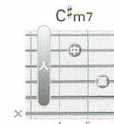
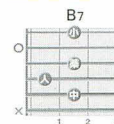
Aメロ-15とほぼ同じ進行。2小節目&6小節目のE7がキモ。
フォーク系ご用達だが、もちろん他のジャンルでもOKだ。

Key=C

他のキーでは

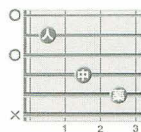
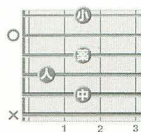
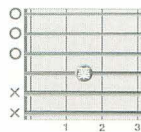
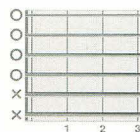
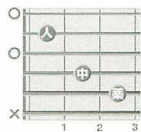
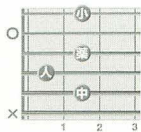
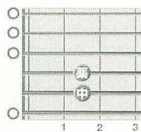
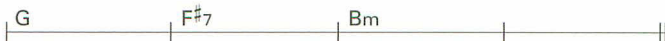
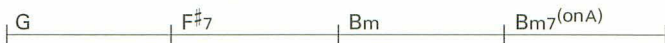
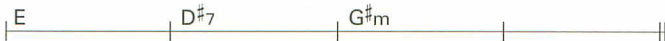
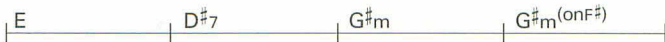
続けて弾くのにオススメ

▶ サビ-15
▶ 転調-03

B メロ 12

秋っぽいコード進行

○	かき鳴らす
◎	つま弾く
◎	アルペジオ

Aメロ-16とほぼ同じ進行だが、ラストがEmで終わっているのがポイント。Cで終わるのに飽きた人向き。

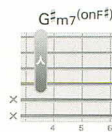
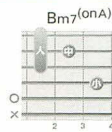
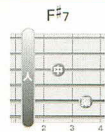
Key=C

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ サビ-18

▶ サビ-26

Check!

B メロ 13 動きのあるコード進行

◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

Aメロ-18とほぼ同じ進行。6小節目まで低音の動きが下りてくるのが特徴で、動きを演出する時の常套手段のひとつ。

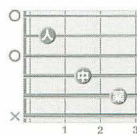
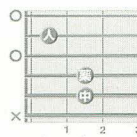
Key=C

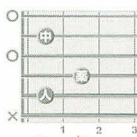
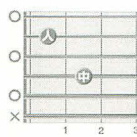
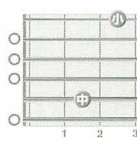
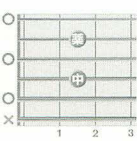
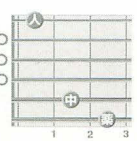
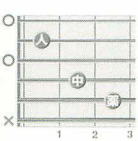
他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ サビ-22
▶ 転調-04

Check!

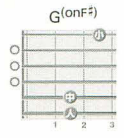
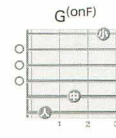
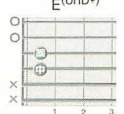
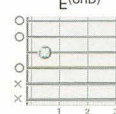
B メロ 14

流れるようなコード進行

△ かき鳴らす
◎ つま弾く
○ アルペジオ

Aメロ-19とほぼ同じ進行。前半4小節は、低音が半音ずつ流れるように下がっていく。3小節目のコードがなんともクール！

Key=C

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

Check!

B メロ 15

ナルシスティックなコード進行

○ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

Aメロ-20と似た進行。3～4小節目とラスト6～7小節目、コードが2拍ずつ変わっていくところがポイント。

Key=C

他のキーでは

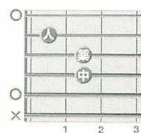
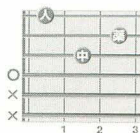
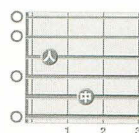
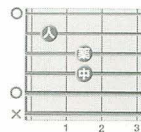
続けて弾くのにオススメ

▶サビ-17
▶サビ-30

Check!

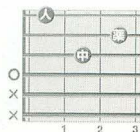
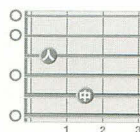
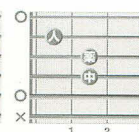
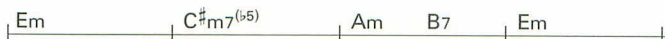
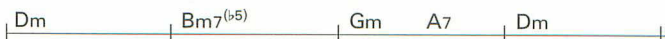
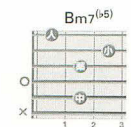
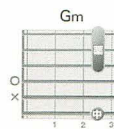
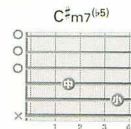
悲しいコード進行

◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

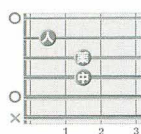
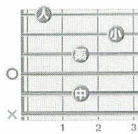
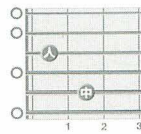
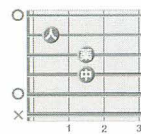
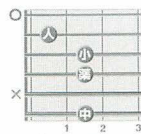
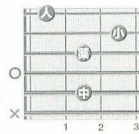
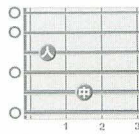
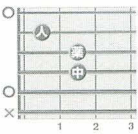
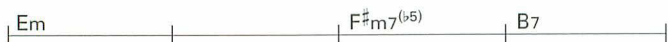
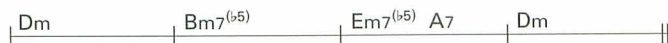
Aメロ-21とほぼ同じ進行。典型的なマイナー・パターン。
悲しい感じを表現するにはもってこいだ。

Key=Am

他のキーでは

Check!

B メロ 17

冬っぽいコード進行

- ◎ かき鳴らす
- ◎ つま弾く
- ◎ アルペジオ

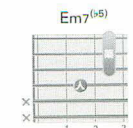
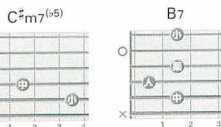
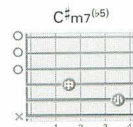
Aメロ-22とほぼ同じ進行。シンプルなマイナー進行だが、
あてがうメロディによってはポップ系やフォーク系などにもなるぞ。

Key=Am

他のキーでは

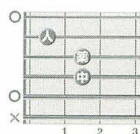
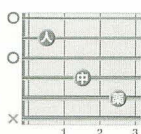
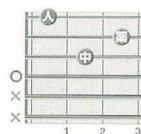
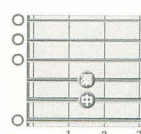
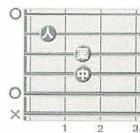
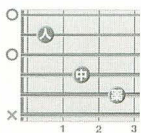
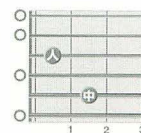
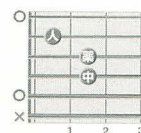
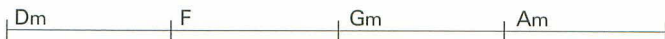
続けて弾くのにオススメ

▶ サビ-29
▶ 転調-12

Check!

B メロ 18

明け方のようなコード進行

◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

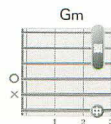
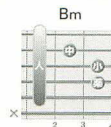
Aメロ-23と似た進行。コードCを挟むことによって、ちょっとだけ明るめになっている。

Key=Am

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ サビ-04
▶ 転調-10

Check!

B メロ 19

木枯らしのようなコード進行

○	かき鳴らす
○	つま弾く
◎	アルペジオ

Aメロ-24とほぼ同じ進行。風に落ち葉が舞う木枯らしのイメージ。
5～6小節目の2拍ずつの動きがフックになっている。

Key=Am

他のキーでは

Check!

希望が湧くコード進行

○ かき鳴らす
◎ つま弾く
○ アルペジオ

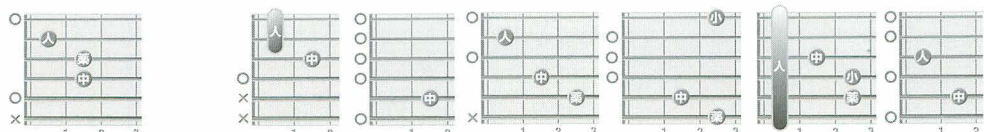
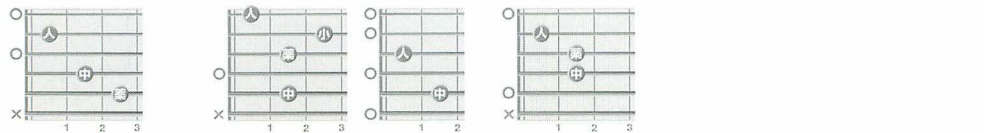
Aメロ-25とほぼ同じ進行。前半4小節はマイナー・コード、後半4小節はメジャー・コード中心なのが特徴。

Key=Am

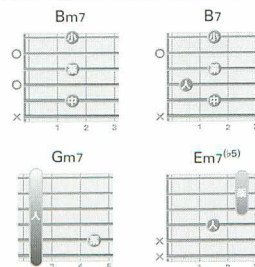
他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

Check!

Bメロ 21

夕暮れ時のようなコード進行

△ かき鳴らす
○ つま弾く
◎ アルペジオ

Aメロ-28と似た進行。マイナーの感じでもあり、メジャーの感じでもある。中間的な進行だ。

Key=Am

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ サビ-23
▶ サビ-28

Check!

Bメロ 22 北風のようなコード進行

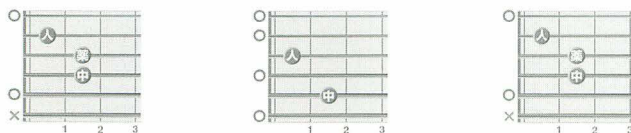
○ かき鳴らす
◎ つま弾く
○ アルペジオ

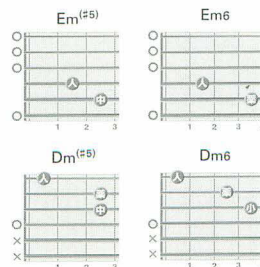
Aメロ-29とほぼ同じ進行。マイナー調の中、
5〜6小節目でCメジャーに一時的に転調しているのがミソ。

Key=Am

他のキーでは

Check!

Bメロ 23 危険な雰囲気のコード進行

- ◎ かき鳴らす
- ○ つま弾く
- ○ アルペジオ

Aメロ-33と似た進行。ミスチルの曲に登場しそうな進行だ。
危うい雰囲気を演出するにはきっと重宝するはず。

Key=Am

他のキーでは

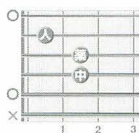
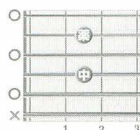
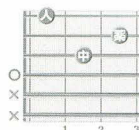
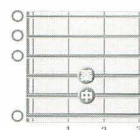
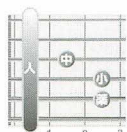
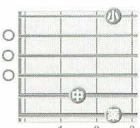
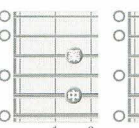
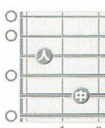
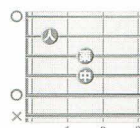
続けて弾くのにオススメ

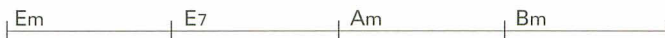
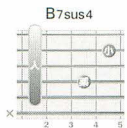
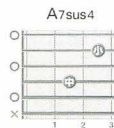
▶ サビ-32
▶ 転調-08

Check!

前向きなコード進行

○ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

Aメロ-34とほぼ同じ進行。マイナー調でありながら、
あまり暗くなっていないのが特徴だ。

サビ-24
サビ-35

Bメロ 25 不思議なコード進行

◯ かき鳴らす
◯ つま弾く
◎ アルペジオ

Aメロ-35とほぼ同じ進行。3小節目のコードB♭の持つ不思議な感覚がポイントとなっている。

Key=Am

他のキーでは

続けて弾くのにオススメ

▶ サビ-40

▶ 転調-13

Check!

Bメロ 26 黄昏のコード進行

△ かき鳴らす
○ つま弾く
◎ アルペジオ

Aメロ-36とほぼ同じ進行。ストロークもいいが、
アルペジオがやはりベスト・マッチング。しっとりと弾いてみよう。

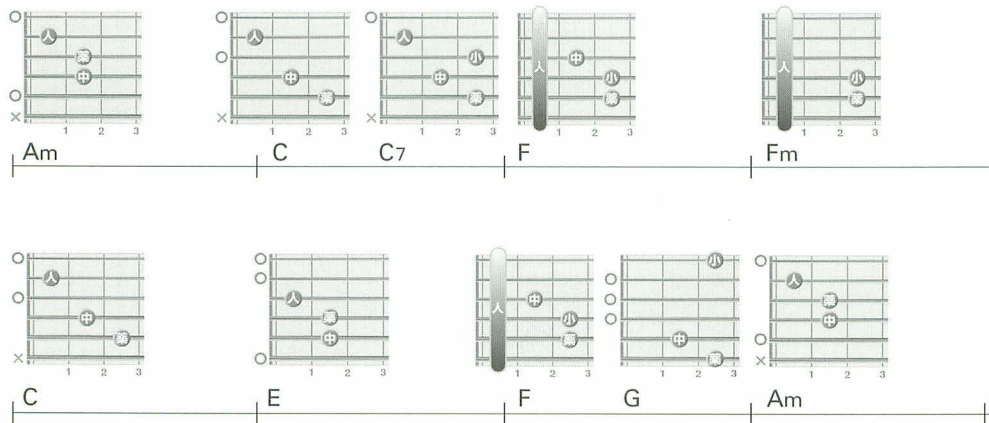
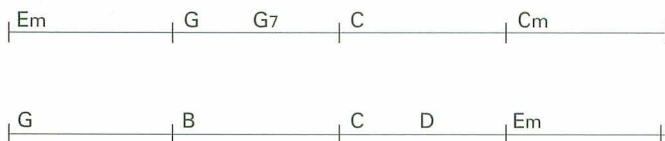
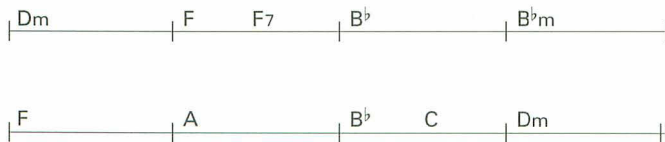
Key=Am

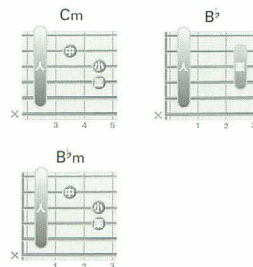
他のキーでは

Check!

Bメロ 27 旅立ちの朝のコード進行

○ かき鳴らす
○ つま弾く
◎ アルペジオ

Aメロ-37とほぼ同じ進行。
3小節目でちょっとFメジャーに転調した感じが特徴だ。

Key=Am

他のキーでは

ハード・ボイルドなコード進行

○ かき鳴らす
△ つま弾く
◎ アルペジオ

Aメロ-38と似た進行。目まぐるしく変わるコード進行だが、
スローなテンポにすればそう感じないはずだ。

Key=Am

●Eマイナー

Em EmΔ7	Em7 Em6	C(onE)	B7sus4 B7
Em Em7(onD)	C♯m7(♭5) C	B7sus4 B7	Em

●Dマイナー

Dm DmΔ7	Dm7 Dm6	B♭(onD)	A7sus4 A7
Dm Dm7(onC)	Bm7(♭5) B♭	A7sus4 A7	Dm

続けて弾くのにオススメ

▶ サビ-04
▶ サビ-08

Check!

EmΔ7　C(onE)
DmΔ7　B♭(onD)

B メロ 29

哀愁を帯びたコード進行

△ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

Aメロ-39とほぼ同じ進行。マイナー調の中にあって、
3小節目のメジャー・セブンスが絶妙な響きを出している。

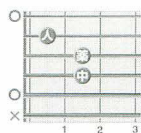
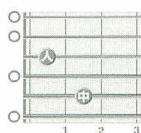
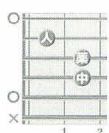
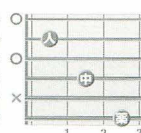
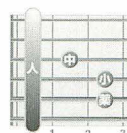
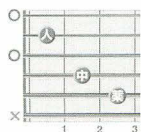
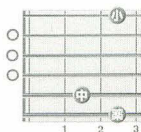
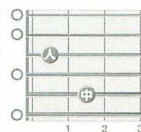
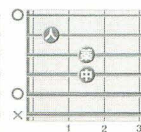
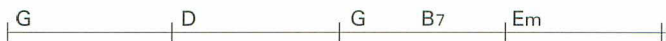
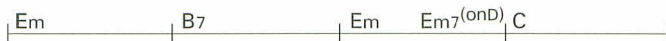
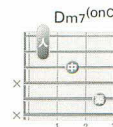
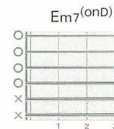
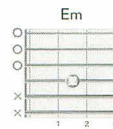
Key=Am

他のキーでは

Check!

Bメロ 30 男気のあるコード進行

- ◎ かき鳴らす
- △ つま弾く
- ○ アルペジオ

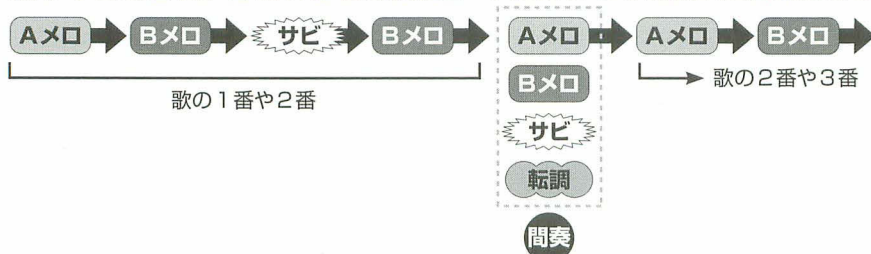
Aメロ-40と似た進行。3小節目のオン・コードの動きが、
この進行をフットワークの軽いものにしている。

Key=Am

他のキーでは

Check!

間奏の作り方

どんなに歌に自信があっても、ずーっと歌っていては疲れてしまう。効果的な間奏を入れることで曲にメリハリが付くし、ノドをちょっと休ませることができるのだ。間奏も、イントロと同じように他のパートのコード進行をあてはめることで簡単に作ることができる。

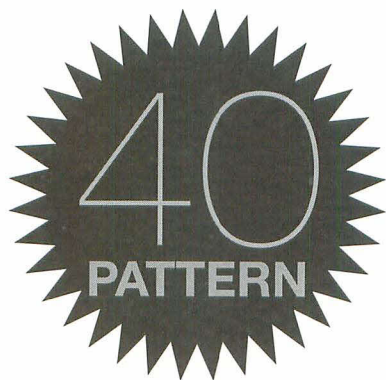
基本的な間奏の作り方

通常の曲はこのような形で 1 パックになっていて、
歌詞の 1 番、2 番……などはこの 1 パックのことを指す。

Aメロ → Bメロ → サビ → Bメロ

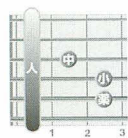
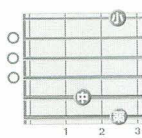
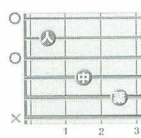
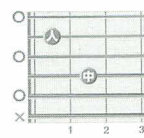
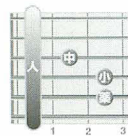
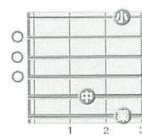
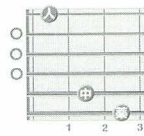
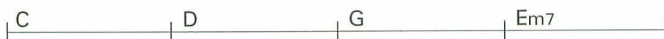
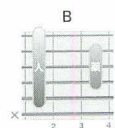
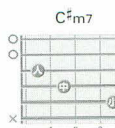
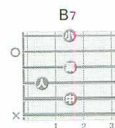
歌の 1 番と 2 番、2 番と 3 番の間にコード進行を 8 小節挟むと間奏になる。

要するに、歌の 1 番や 2 番、3 番などの間に、8 小節のコード進行を歌わずに入れれば間奏にできるというだけのこと。

奏法的に見れば、コードをかき鳴らす曲では押さえるポジションを変えてみたり、曲の他の部分がアルペジオならば指でソフトにストロークしてみるなど、弾き方を工夫するとグッと間奏らしくなるのだ。歌のメロディをギターで弾いてみても OK。

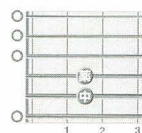
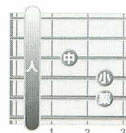
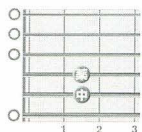
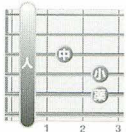
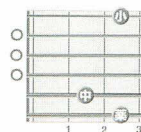
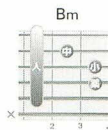
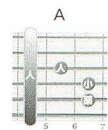
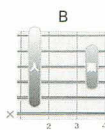
サビの
コード進行

サビ 01 牧歌的なコード進行

柔らかい印象だが、
パワフルなＡメロやＢメロの進行にも相性はいい。

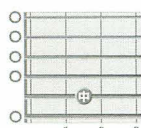
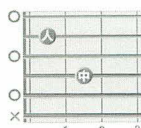
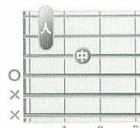
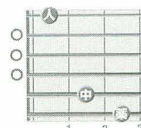
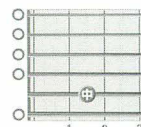
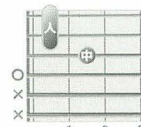
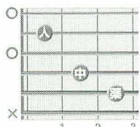
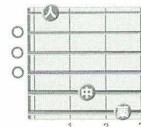
◯	かき鳴らす
◎	つま弾く
◯	アルペジオ

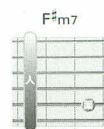
Key=C

サビ 02 ちょっと大人なコード進行

○ かき鳴らす
◎ つま弾く
○ アルペジオ

キーはCだが、当のコードCはひとつも出てこないのが特徴。
Emがちょっとした暗さを演出している。

Key=C

他のキーでは

サビ 03 安定したコード進行

◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

古くから愛され続けているスタンダードな進行。
ポップス系、フォーク系、はたまたジャジィと、多様なマッチングが可能。

Key=C

他のキーでは

Check!

サビ 04 都会的なコード進行

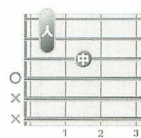
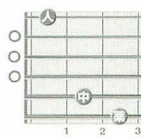
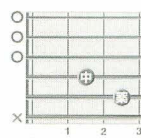
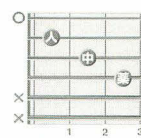
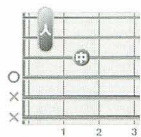
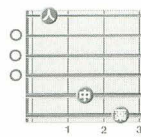
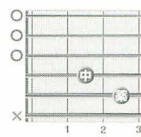
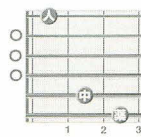
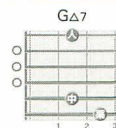
△	かき鳴らす
◎	つま弾く
◎	アルペジオ

メジャー・セブンス・コードがなんともお洒落！
洗練された楽曲にしたい方にお薦めだ。

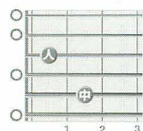
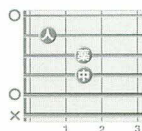
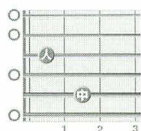
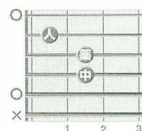
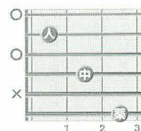
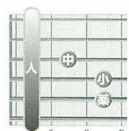
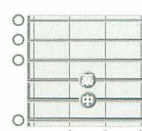
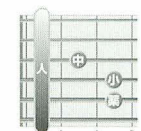
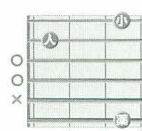
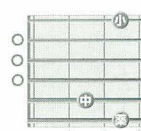
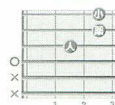
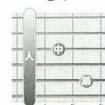
Key=C

他のキーでは

Check!

サビ 05

メロドラマのようなコード進行

○ かき鳴らす
◎ つま弾く
△ アルペジオ

メロドラマというと安易な印象を受けるかもしれないが、
構成や作り方次第によってはハイ・センスなサビにもなるぞ。

Key=C

他のキーでは

Check!

サビ 06 転がり落ちるようなコード進行

◎ かき鳴らす
○ つま弾く
◎ アルペジオ

前半4小節の転がり落ちていくような進行は、
多くのアーティストご用達のパターンだ。

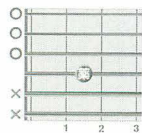
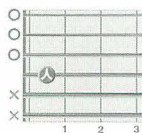
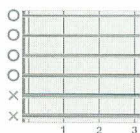
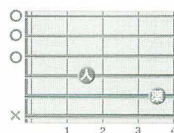
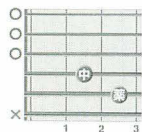
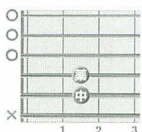
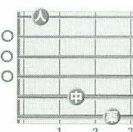
Key=C

他のキーでは

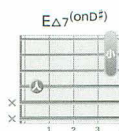
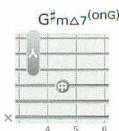
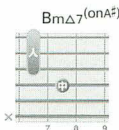
サビ 07

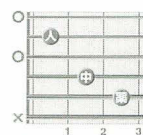
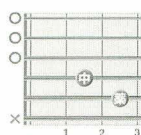
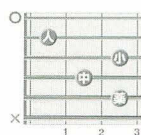
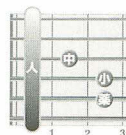
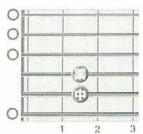
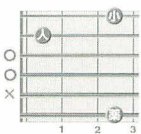
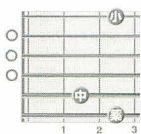
底の見えないコード進行

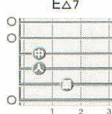
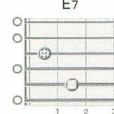
◎ かき鳴らす
○ つま弾く
○ アルペジオ

最低音がアタマから最後まで下りてくるのがポイント。
サビでビシッと決まればカッコいいこと間違いなし。

Key=C

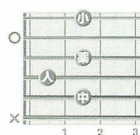
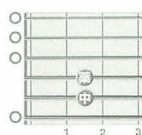
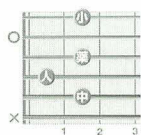
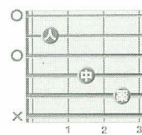
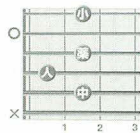
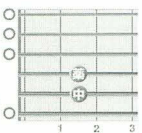
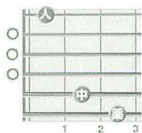
他のキーでは

ピースフルなコード進行

◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

ジョン・レノンからイーグルス、はたまたユーミンまで、
前半４小節の進行を使っているミュージシャンは数知れず。

Key=C

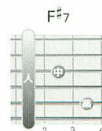
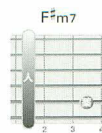
他のキーでは

Check!

サビ 09 孤独な感じのコード進行

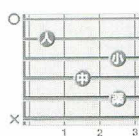
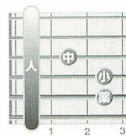
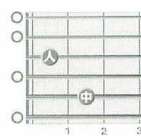
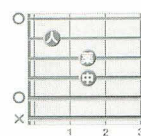
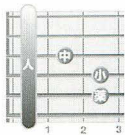
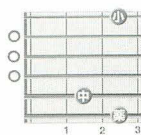
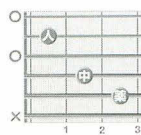
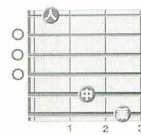
◎ かき鳴らす
○ つま弾く
△ アルペジオ

２小節目＆６小節目で一時的にＥマイナーに転調した感じが決め手。
孤独を叫ぶ（？）コード進行だ。

Key=C

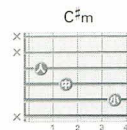
他のキーでは

Check!

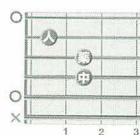
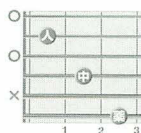
サビ 10 疾走感のあるコード進行

◎ かき鳴らす
○ つま弾く
○ アルペジオ

スローなテンポで使っても差し支えないが、
速いテンポで使えば疾走感倍増だ！

Key=C

他のキーでは

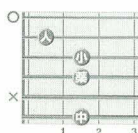
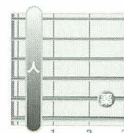
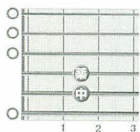
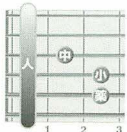
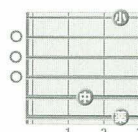
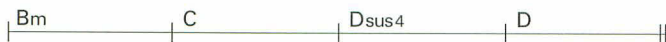
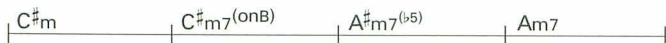
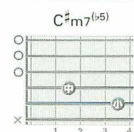
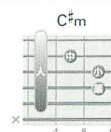
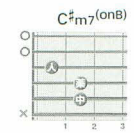
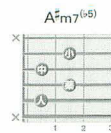
Check!

サビ 11 ホットなコード進行

◎ かき鳴らす
○ つま弾く
○ アルペジオ

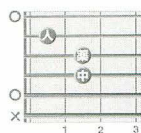
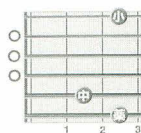
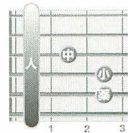
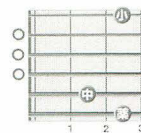
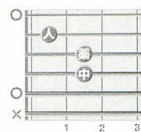
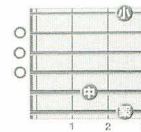
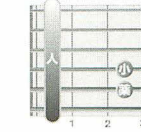
4小節目のコードが意外にもパンチが効いている。
キミの熱い思いを曲にたくそう！

Key=C

他のキーでは

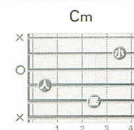
Check!

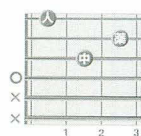
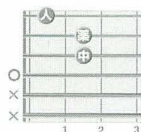
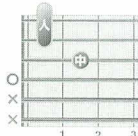
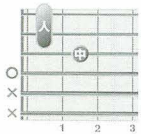
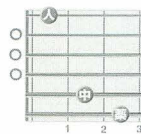
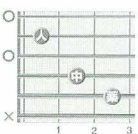
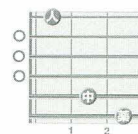
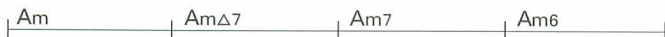
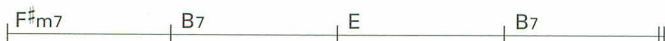
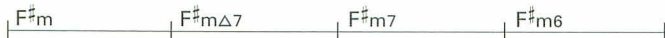
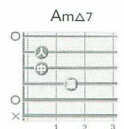
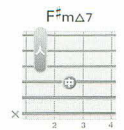
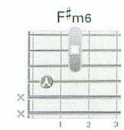
サビ 12 エモーショナルなコード進行

◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
○ アルペジオ

ロックからフォークまで守備範囲の広い進行だ。
８小節目のFmがアクセントとなっている。

Key=C

他のキーでは

Check!

サビ 13 霧のかかったようなコード進行

△ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

Dマイナーに転調したかのような錯覚が、
霧がかかっているようなイメージに通じている。

Key=C

他のキーでは

サビ 14 ブルーな感じのコード進行

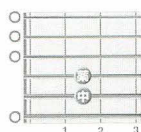
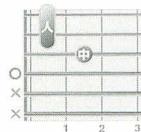
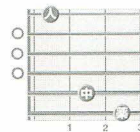
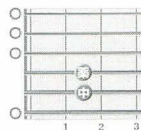
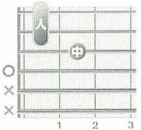
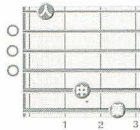
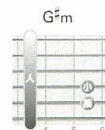
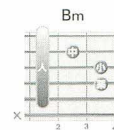
○	かき鳴らす
◎	つま弾く
○	アルペジオ

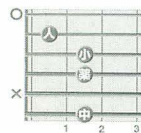
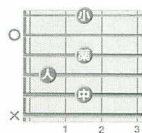
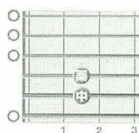
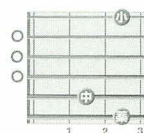
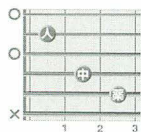
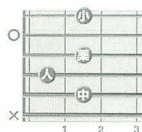
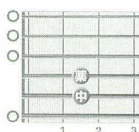
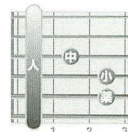
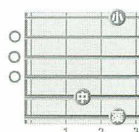
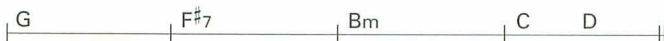
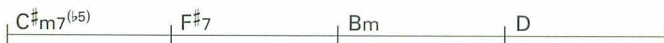
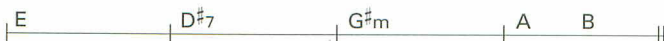
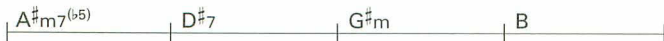
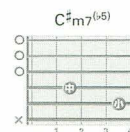
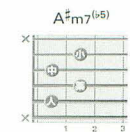
ブルーな印象を受けるのはマイナー・コードが多いため。
明るめのAメロやBメロを選んで、対比させるのも効果的。

Key=C

他のキーでは

Check!

サビ 15 ノスタルジックなコード進行

- ○ かき鳴らす
- ◎ つま弾く
- ◎ アルペジオ

途中、Eマイナーへ転調した感じを持つ。
メジャー・コードがいくつかあるが、全体的にマイナー調との中間的な色合い。

Key=C

他のキーでは

サビ 16 朝日のようなコード進行

○ かき鳴らす
○ つま弾く
◎ アルペジオ

要所に出てくるFコードがカギを握っている。この前に持ってくるBメロは、マイナー調、メジャー調、どちらでも対応可だ。

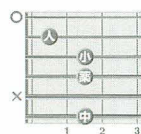
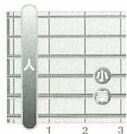
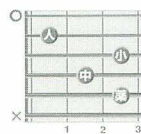
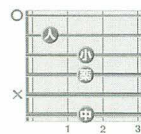
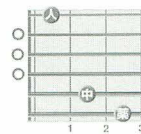
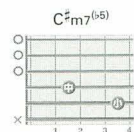
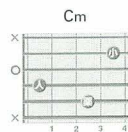
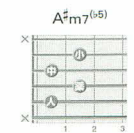
Key=C

他のキーでは

Check!

サビ 17 大人びたコード進行

- ◎ かき鳴らす
- ◎ つま弾く
- ◎ アルペジオ

暗くもあり、明るくもあり、両面性を兼ね備えた進行だ。
そのため意外とフレキシブルにいろいろな曲で使えるかも。

Key=C

他のキーでは

Check!

アッと驚くコード進行

○ かき鳴らす
◎ つま弾く
○ アルペジオ

２小節目＆４小節目のBm7が意外性の秘訣。
その分、後半４小節はスタンダードな進行で安定感を演出してある。

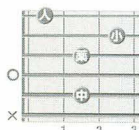
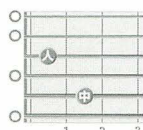
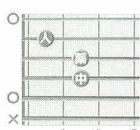
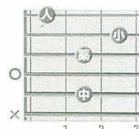
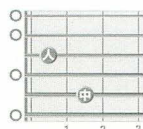
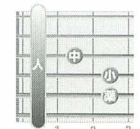
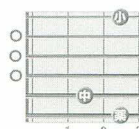
Key=C

他のキーでは

Check!

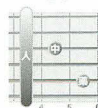
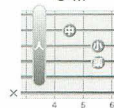
サビ 19 続きを期待させるコード進行

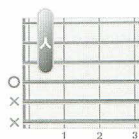
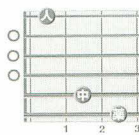
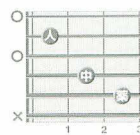
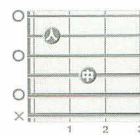
◎ かき鳴らす
○ つま弾く
◎ アルペジオ

Aマイナーの色が濃いサビだ。統一感を出したいならAマイナーのものを、変化を望むならCメジャーのものを、Bメロから選ぶといい。

Key=C

他のキーでは

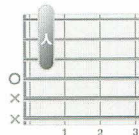
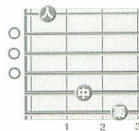
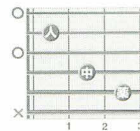
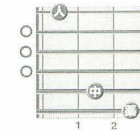
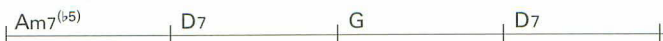
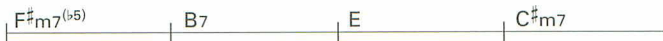
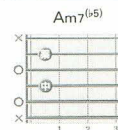
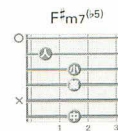
Check!

サビ 20 希望の見えるコード進行

◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
○ アルペジオ

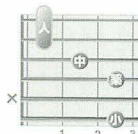
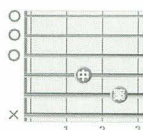
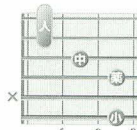
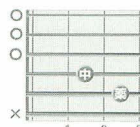
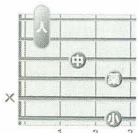
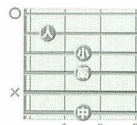
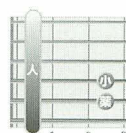
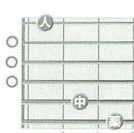
いきなり出てくるDm7(♭5)コードが聴く側の心をキャッチするはず。
あとはキミの作るメロディでがっちり引きつけよう。

Key=C

他のキーでは

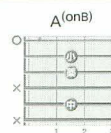
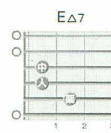
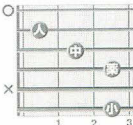
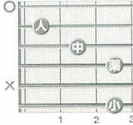
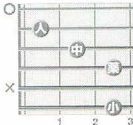
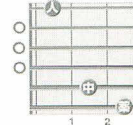
Check!

サビ 21

浮遊感のあるコード進行

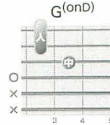
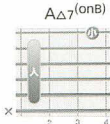
△ かき鳴らす
◎ つま弾く
○ アルペジオ

1小節目他で登場するオン・コードが浮遊感の源。
お洒落なポップ系にピッタリだ。

Key=C

他のキーでは

Check!

サビ 22 近未来的なコード進行

△ かき鳴らす
○ つま弾く
◎ アルペジオ

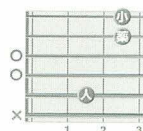
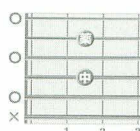
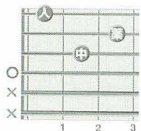
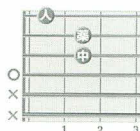
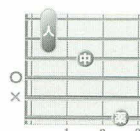
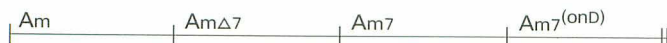
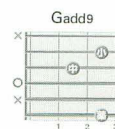
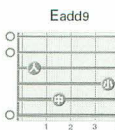
シンプルだが意外性は超特大。
サビでガラッと場面展開を図りたいならこれでキマリ。

Key=C

他のキーでは

Check!

サビ 23 優しく包み込むコード進行

○ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

ちょっと凝った感じが特徴。AメロやBメロにシンプルなものを選ぶのもひとつの手。スガシカオが好みそうな進行だ。

Key=C

他のキーでは

Check!

サビ 24 カラフルなコード進行

2小節目＆4小節目のオン・コードがいかにもカラフル。
さり気なく気分転換したい時にも使えるぞ。

- ○ かき鳴らす
- ◎ つま弾く
- ◎ アルペジオ

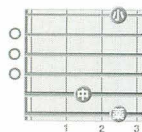
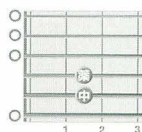
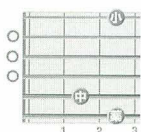
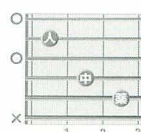
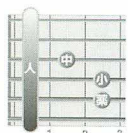
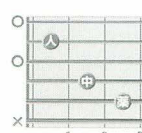
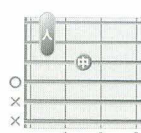
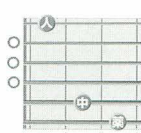
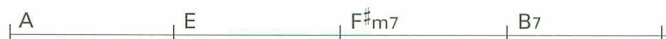
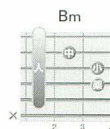
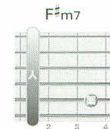
Key=C

他のキーでは

Check!

サビ 25 ホッと安心するコード進行

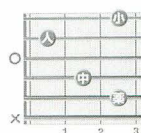
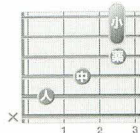
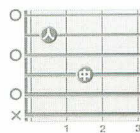
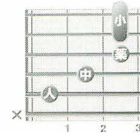
◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

サビでホッとさせるのもありだ。
シンプルな分、どういった曲にでも対応可能な万能型。

Key=C

他のキーでは

Check!

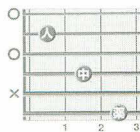
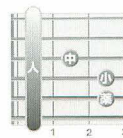
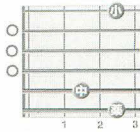
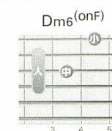
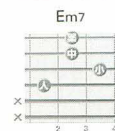
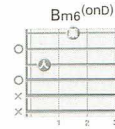
ミステリアスなコード進行

○ かき鳴らす
○ つま弾く
◎ アルペジオ

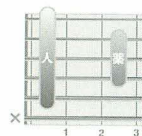
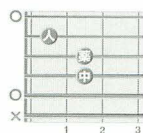
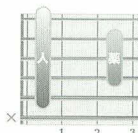
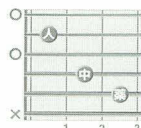
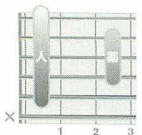
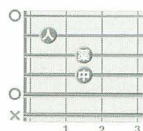
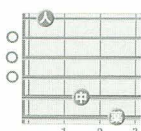
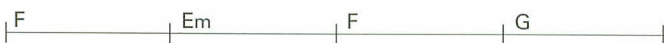
2小節目と4小節目のコードがどこかミステリアスだが、
メロディ次第では名曲に大化けする可能性を秘めた進行だ。

Key=C

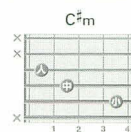
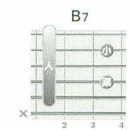
他のキーでは

Check!

サビ 27

無機質なコード進行

◎ かき鳴らす
○ つま弾く
○ アルペジオ

B♭が予想外。聴き手を困惑させるか、魅了させるか、腕の見せどころだ。
８ビートにすればストレートなロックでも使えるぞ。

Key=C

他のキーでは

Check!

サビ 28 ソフト&メロウなコード進行

○ かき鳴らす
◎ つま弾く
○ アルペジオ

とろけるような甘さを持っている進行だ。
このムードをいかに操れるかが分かれ道。

Key=C

他のキーでは

Check!

サビ 29 せわしなく動くコード進行

◎ かき鳴らす
○ つま弾く
△ アルペジオ

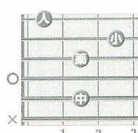
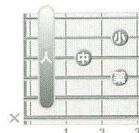
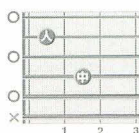
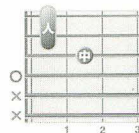
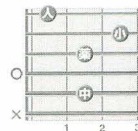
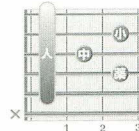
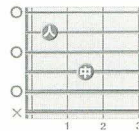
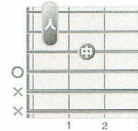
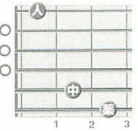
Aメロや Bメロにゆったり目のコード進行をあてるとコントラストが出る。
逆に動きのある進行を選ぶと、曲全体が活気あふれたものに。

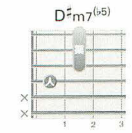
Key=C

他のキーでは

サビ 30 落ち着かないコード進行

- ○ かき鳴らす
- ○ つま弾く
- ◎ アルペジオ

２小節目＆６小節目のB♭△7が有効打となっている。
アルペジオで雰囲気を出そう。

Key=C

他のキーでは

Check!

サビ 31 クールダウンしたコード進行

○ かき鳴らす
◎ つま弾く
○ アルペジオ

7小節目でほんのちょっとだけGメジャーに転調しているが、
次の8小節目ですぐもとに戻るので、違和感はないはず。

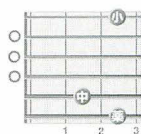
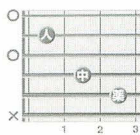
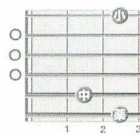
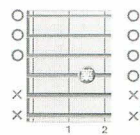
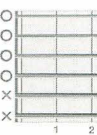
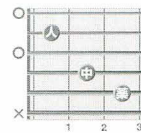
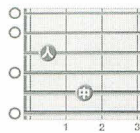
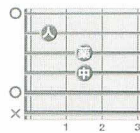
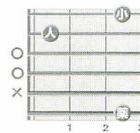
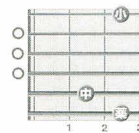
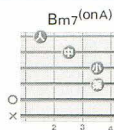
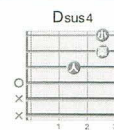
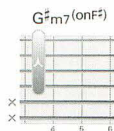
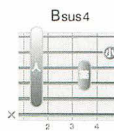
Key=C

他のキーでは

Check!

大自然を感じるコード進行

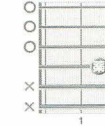
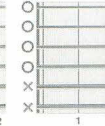
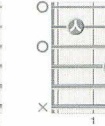
◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

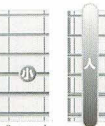
優雅にストロークするか、激しくストロークするか、はたまたアルペジオかで、ぐっとサビの印象が変わる。さぁ、キミならどれを選ぶ？

サビ 33 明日に向かうコード進行

- ◎ かき鳴らす
- ○ つま弾く
- ◎ アルペジオ

効果的に使えばドラマチックなサビになること請け合い。
一気に盛り上げたいならこれ。

Key=C

他のキーでは

Check!

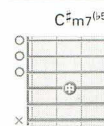
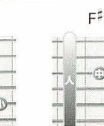
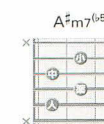
セピア色のコード進行

- ○ かき鳴らす
- ◎ つま弾く
- ○ アルペジオ

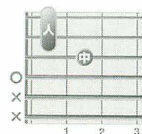
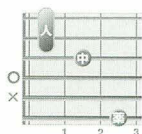
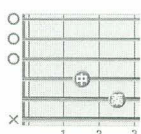
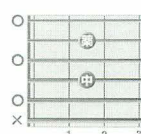
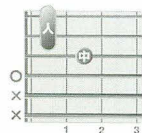
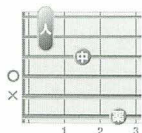
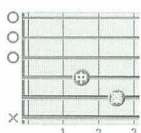
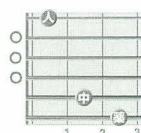
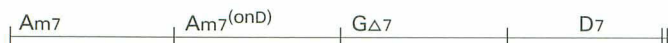
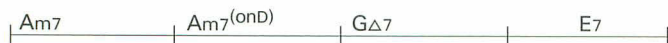
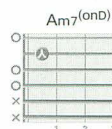
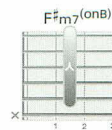
どこか懐かしさを感じさせる進行だが、用い方によっては今風にもなる。このあたりも曲作りの面白さだ。

Key=C

他のキーでは

Check!

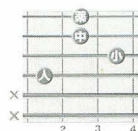
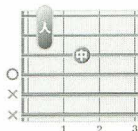
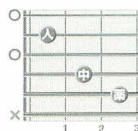
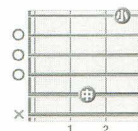
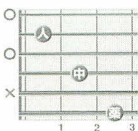
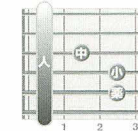
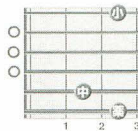
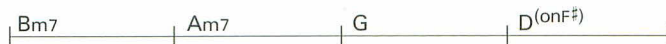
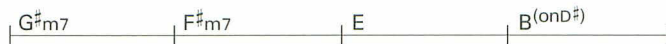
サビ 35 ちょっとゴージャスなコード進行

○	かき鳴らす
◎	つま弾く
○	アルペジオ

2小節目＆6小節目のオン・コードがキモ。
ゴージャスなAOR系サウンドにもピッタリ。

Key=C

他のキーでは

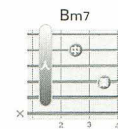
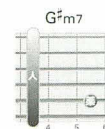
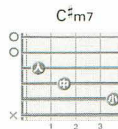
Check!

サビ 36 滑らかなコード進行

○	かき鳴らす
◎	つま弾く
◎	アルペジオ

各コードの最低音が流れるような動きを伴っている。
曲が停滞してしまった時の、お助け進行だ。

Key=C

他のキーでは

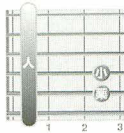
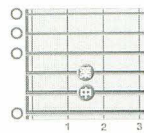
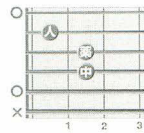
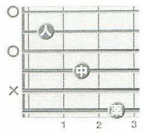
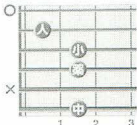
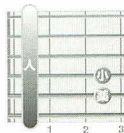
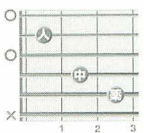
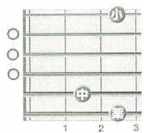
Check!

サビ 37 ジャジィなコード進行

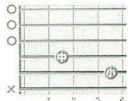
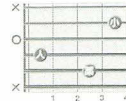
○ かき鳴らす
◎ つま弾く
○ アルペジオ

E♭m7がいかにもジャジィ。最後のオン・コードも洒落ている。
これをサビにすれば、今までになかったタイプの曲が作れるかも。

Key=C

他のキーでは

Check!

サビ 38 冷たい感じのコード進行

◎ かき鳴らす
○ つま弾く
○ アルペジオ

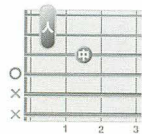
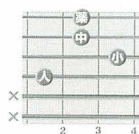
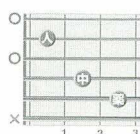
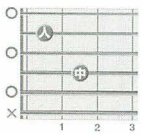
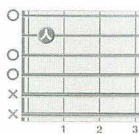
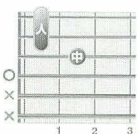
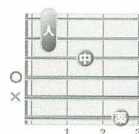
明るめなものや温もり感のあるＡメロやＢメロにこのサビをあてがうと、劇的な展開になるぞ。

Key=C

他のキーでは

Check!

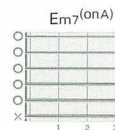
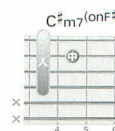
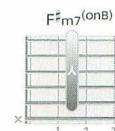
サビ 39 中性的なコード進行

◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

６小節目のオン・コードがフックとなっている。
中性的な進行なので、使い方次第ではどんなタイプの色にも染まる。

Key=C

他のキーでは

Check!

サビ 40 ファッショナブルなコード進行

◯ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

メジャー・セブンス・コードを多用した進行だ。
ファッショナブルなサビにしたいなら迷わずこれ。

Key=C

他のキーでは

Check!

Aメロ
Bメロ
サビ
転調
エンディング
実例集

もっと詳しくコード進行を知るには?

コードとは一体何なのか?　どうしてコードは進行していくのか?……そんな疑問を持ってしまったら、君もコード進行のスペシャリストに向けて一歩を踏み出したと言えるだろう。以下に挙げるような書籍が、きっと役に立つはずだ。

15秒でわかるコード進行160

著者：関口誠人／イラスト：ほししんいち
仕様：B5変型判／128ページ
定価：本体1,300円＋税

コード進行のイメージを4コマ漫画でわかりやすく解説。たったの15秒で、各コード進行の特徴がわかってしまうという驚愕の一冊。

コード進行スタイル・ブック

著者：成瀬正樹
仕様：A5判／192ページ
定価：本体1,500円＋税

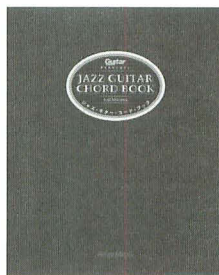
いろいろな名曲のコード進行を分析し、タイプ別に分類した解説書。初歩的な音楽理論も学べるのでとにかくコードを詳しく知りたい人にお薦め。

ギター・マガジン　コード進行の掟

著者：安東滋
仕様：A4変型判／128ページ／CD付き
定価：本体1,600円＋税

ロックで頻出するコード進行を解説したCD付き理論書。鍵盤楽器とは違う“ギタリスト的思考”に則した内容になっている。

ジャズ・ギター・コード・ブック

著者：石沢功治
仕様：B5変型判／224ページ
定価：本体1,500円＋税

ジャズのコード進行は、普通のコード・フォームで弾いてもなかなかジャズっぽくならないもの。この本はジャズ特有のコード・フォームを大量に掲載し、ジャズ演奏の基礎力を養ってくれるだろう。

転調の コード進行

転調 01 とにかく盛り上がるコード進行

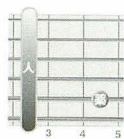
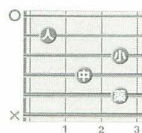
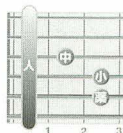
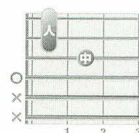
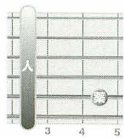
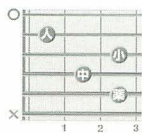
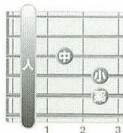
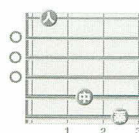
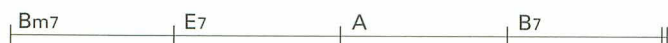
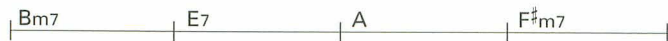
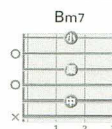
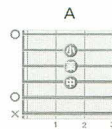
◎ かき鳴らす
○ つま弾く
◎ アルペジオ

Fメジャーに転調するスタンダードなパターン。
盛り上がりを必要とする時の必須アイテムだ。

Key=C

他のキーでは

Check!

転調 02

幸福感のあるコード進行

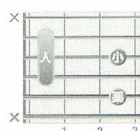
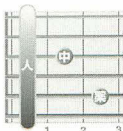
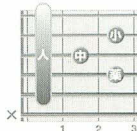
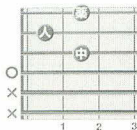
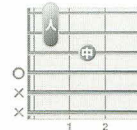
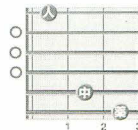
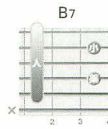
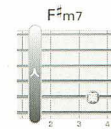
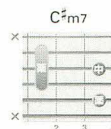
前半4小節はB♭メジャーに転調する。
Bメロに C メジャーのものを選ぶと、この進行が生きてくるぞ。

○ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

Key=C

他のキーでは

Check!

転調 03

自然に転調するコード進行

○ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

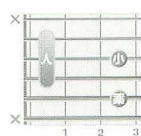
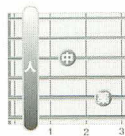
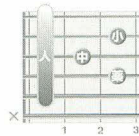
滑らかに転調しているのがポイント。
いきなり変わるのに抵抗がある人は是非お試しあれ！

Key=C

他のキーでは

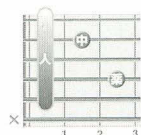
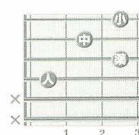
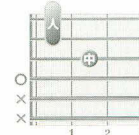
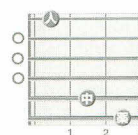
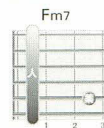
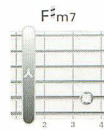
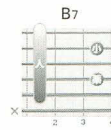
転調 04 シャレた感じのコード進行

- ○ かき鳴らす
- ○ つま弾く
- ◎ アルペジオ

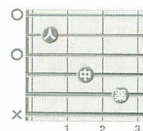
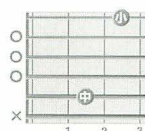
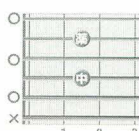
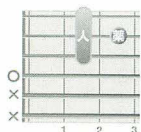
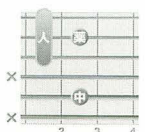
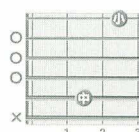
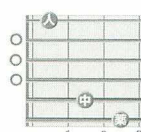
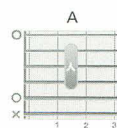
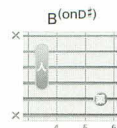
全体的にバランスの取れた転調加減がグッド。
どんなBメロにも合う万能選手だ。

Key=C

他のキーでは

Check!

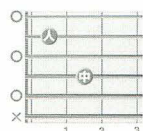
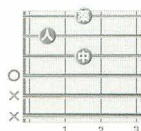
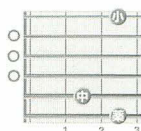
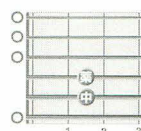
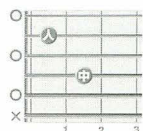
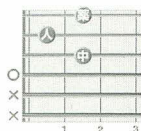
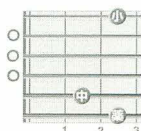
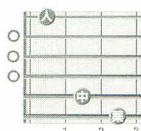
転調 05

川の流れのようなコード進行

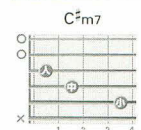
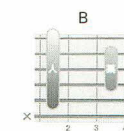
○ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

５小節目でＤメジャーに転調するが、
そこから川の流れのごとく自然とＣメジャーに戻るのが特徴。

Key=C

他のキーでは

Check!

転調 06 勢いのあるコード進行

◎ かき鳴らす
○ つま弾く
○ アルペジオ

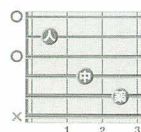
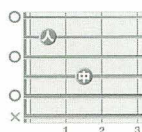
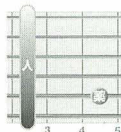
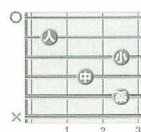
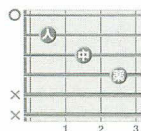
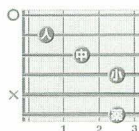
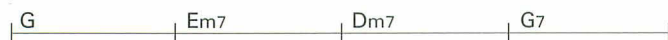
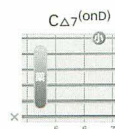
８小節目以外はすべてＧメジャーに転調している。
サビで勢いをつけたい時に使用するべし。

Key=C

他のキーでは

Check!

転調 07 ドラマチックなコード進行

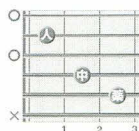
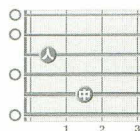
◎ かき鳴らす
○ つま弾く
◎ アルペジオ

２小節目から３小節目への流れがなんともドラマチック。
後半４小節も盛り上がること必至。

Key=C

転調 08

劇的な展開のコード進行

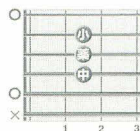
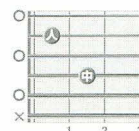
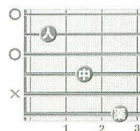
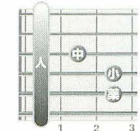
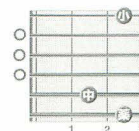
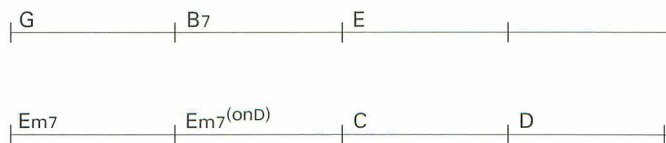
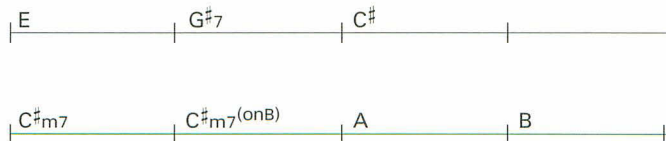
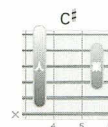
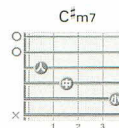
◎ かき鳴らす
○ つま弾く
○ アルペジオ

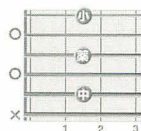
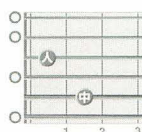
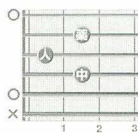
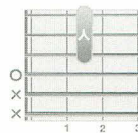
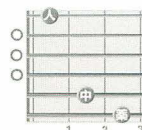
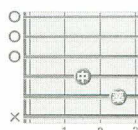
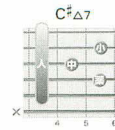
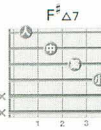
３小節目でいきなりＡメジャーに転調するという
劇的な展開が待ち受けている進行だ。

Key=C

他のキーでは

Check!

Aメロ
Bメロ
サビ
転調
エンディング
実例集

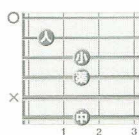
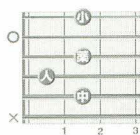
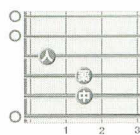
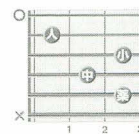
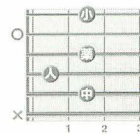
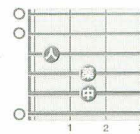
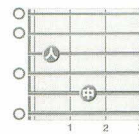
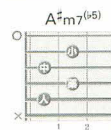
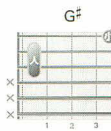
転調
09
唐突に場面転換するコード進行

○ かき鳴らす
○ つま弾く
◎ アルペジオ

アタマからいきなり転調感あり。
曲作りでマンネリ気味におちいっている人にお薦め。

Key=C

他のキーでは

Check!

ギョッとするコード進行

3小節目でEmに行くと見せかけといて、実はEメジャーだった……
というオチを持った進行であ〜る。

Key=C

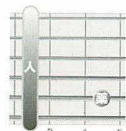
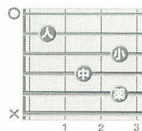
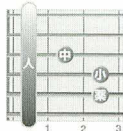
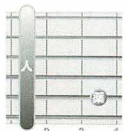
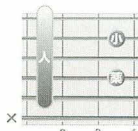
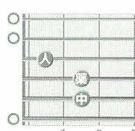
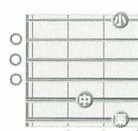
他のキーでは

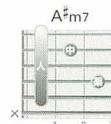
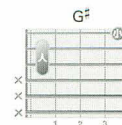
Check!

転調 11 何度も転調するコード進行

前半１～４小節目はＦメジャー、
後半５～７小節目はＥメジャーと目まぐるしい展開が目玉。

◎ かき鳴らす
○ つま弾く
○ アルペジオ

Key=C

他のキーでは

Check!

転調 12 あか抜けた感じのコード進行

- ○ かき鳴らす
- ◎ つま弾く
- ○ アルペジオ

2小節目にメジャー・セブンス・コードを挟むことで
ワン・クッションおかれた格好に。これがあか抜けて感じる最大のポイント。

Key=C

他のキーでは

転調 13 不安感を煽るコード進行

◯ かき鳴らす
◎ つま弾く
◯ アルペジオ

突然Fマイナーに転調。聴く側に不安感を煽っておいて、
最後にちゃんとCメジャーに戻る。あ〜、ひと安心。これ転調の極意。

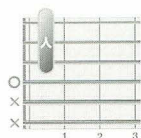
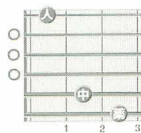
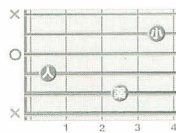
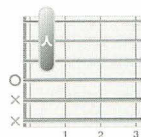
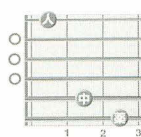
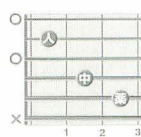
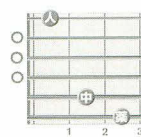
Key=C

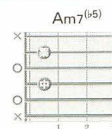
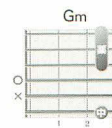
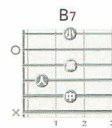
他のキーでは

Check!

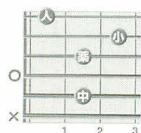
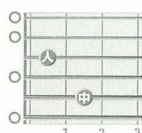
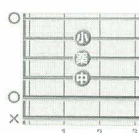
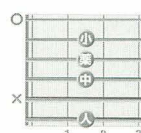
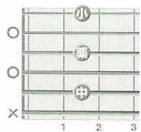
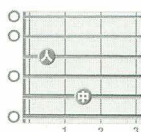
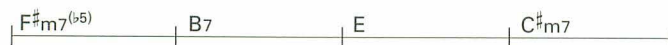
転調 14 どこか不安げなコード進行

- ◯ かき鳴らす
- ◎ つま弾く
- ◎ アルペジオ

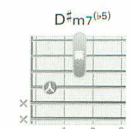
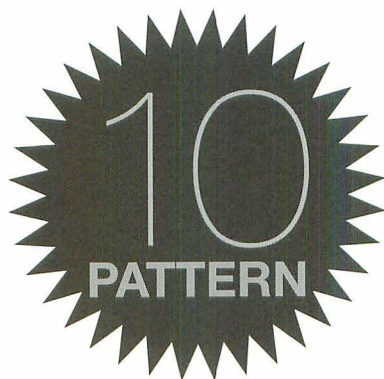
出だしからCマイナーに転調。6小節目も当然Cmのコードがくる……と思わせといて、実はCが飛び出す仕掛け。

Key=C

他のキーでは

Check!

転調 15 意外性のあるコード進行

◎ かき鳴らす
○ つま弾く
○ アルペジオ

本来なら３小節目にAm、７小節目にＡが来るのが順当。
これを逆にした意外性ピカイチの進行だ。

Key=C

他のキーでは

Check!

エンディングのコード進行

つながり感のあるコード進行

- ◎ かき鳴らす
- ◎ つま弾く
- ◎ アルペジオ

スムーズな流れのエンディングを求めるならコレ。
宇多田ヒカルやゆず、などなど、さまざまなアーティスト頻出パターンだ。

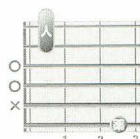
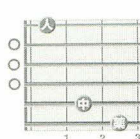
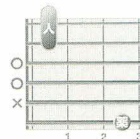
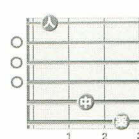
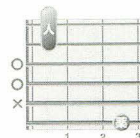
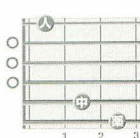
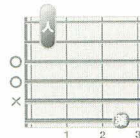
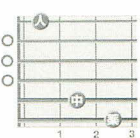
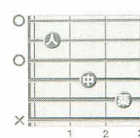
Key=C

他のキーでは

Check!

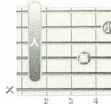
じわじわ盛り上がるコード進行

◎ かき鳴らす
○ つま弾く
△ アルペジオ

サス・フォー・コードが盛り上がること間違いなし。
活発な曲の最後を飾るに相応しい進行だ。

Key=C

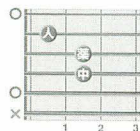
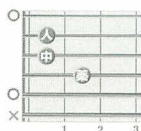
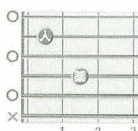
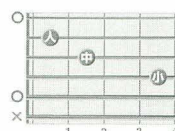
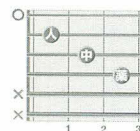
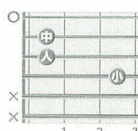
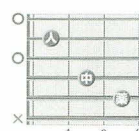
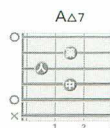
他のキーでは

Check!

エンディング｜03

せつなさ漂うコード進行

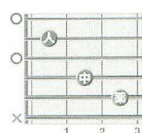
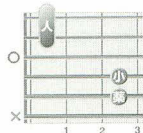
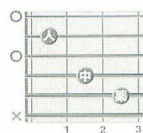
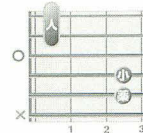
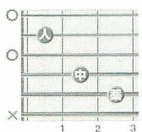
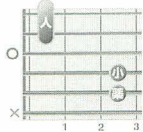
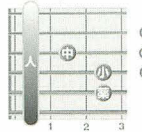
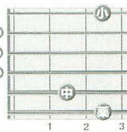
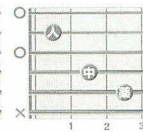
スローな曲で使用すれば、せつなさを漂わせながら終えることができる。
もちろん速い曲でもOK。

◎ かき鳴らす
○ つま弾く
○ アルペジオ

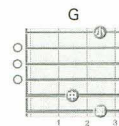
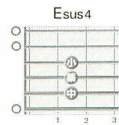
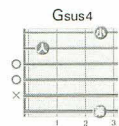
Key=C

他のキーでは

Check!

ほのぼのとしたコード進行

◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
○ アルペジオ

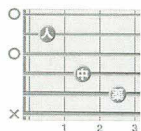
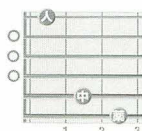
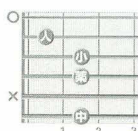
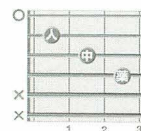
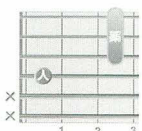
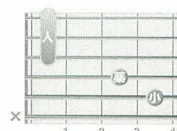
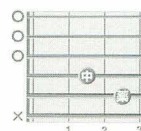
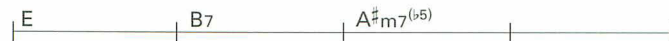
優しくつま弾けばほのぼのと、逆に強くストロークすれば
盛り上がりのあるエンディングとなるぞ。

Key=C

他のキーでは

エンディング | 05

目の回るようなコード進行

◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

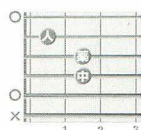
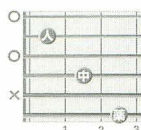
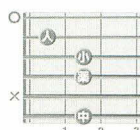
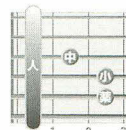
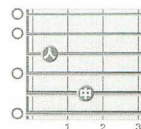
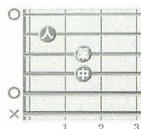
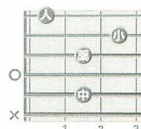
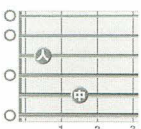
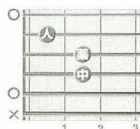
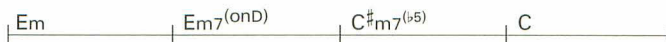
後半4小節での連続したメジャー・セブンス・コード展開がキー・ポイント。実は古くからあるオーソドックスなパターンなのだ。

Key=C

他のキーでは

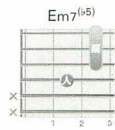
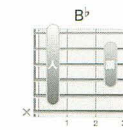
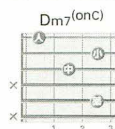
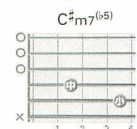
Check!

カッチリとしたコード進行

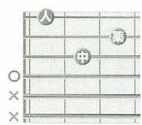
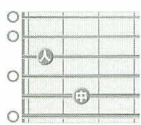
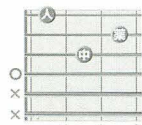
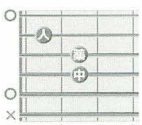
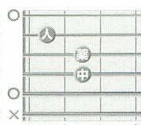
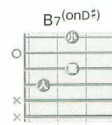
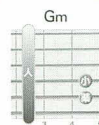
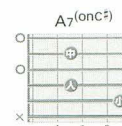
- ◯ かき鳴らす
- ◎ つま弾く
- ◎ アルペジオ

エンディング-01のマイナー・バージョン。
これも多くのアーティストから引く手あまたのエンディング・パターンだ。

Key=Am

他のキーでは

Check!

悲しい結末のコード進行

○ かき鳴らす
◎ つま弾く
◎ アルペジオ

明るいメジャー感がまったく出てこない進行だ。
悲哀を表現したい時にチョイスされたし。

Key=Am

他のキーでは

Check!

意外な終わり方のコード進行

かき鳴らす
つま弾く
アルペジオ

最後はCかAmに行くと見せかけて、何とAという意外な結末が待っている。でも、実際に弾いてみるとこれが実にクール。

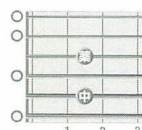
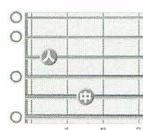
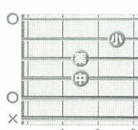
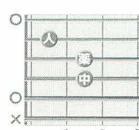
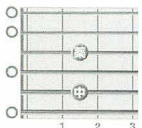
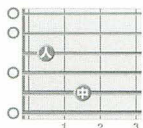
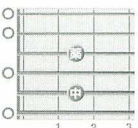
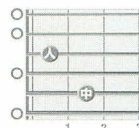
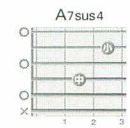
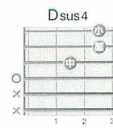
Key=C or Am

他のキーでは

Check!

続きを予感させるコード進行

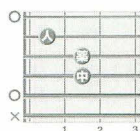
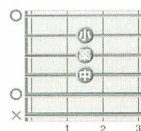
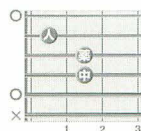
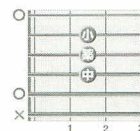
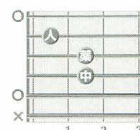
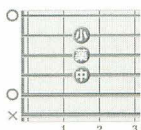
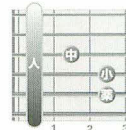
◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
○ アルペジオ

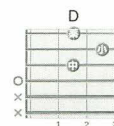
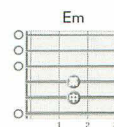
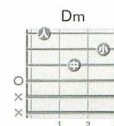
ラストをセブンス・コードのままで終えるのが特徴。
このあとも続くことを予感させる。これもエンディングの常套手段のひとつ。

Key=Am

他のキーでは

Check!

終止感のないコード進行

◎ かき鳴らす
◎ つま弾く
○ アルペジオ

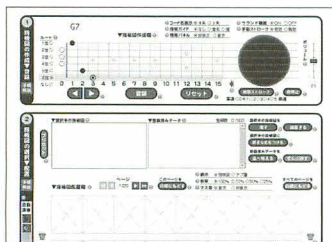
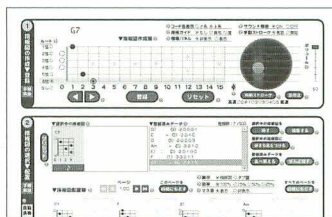
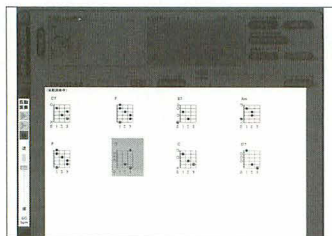
AmとAをくり返し、なおかつ最後もなんら関係のないコードで終わる。非常に個性的なエンディング・パターン。

Key=Am

他のキーでは

Check!

指板図くんでラクラク作曲

複雑なコードをパッと押さえるのは結構な練習が必要なもの。ギターを弾くのに気を取られて肝心のメロディが出てこない……なんていう時は、気分を変えてギターを使わず、コード進行を冷静に聴いてみよう。今はインターネットさえあれば、便利なツールが無料で利用できるのだ!

この本ではギターをジャカジャカ弾きながら鼻歌で作曲していくという方法をお薦めしているが、ギターを使わなくても簡単にコード進行を鳴らせるツールがあるのをご存知だろうか? それが、ギターの総合情報サイト"ギター・マガジン・オンライン"で公開されている"指板図くん"だ。コードの情報をパソコン上にカチカチ打ち込むと、お好みのスピードで自動演奏してくれるという優れモノ。コード進行をつなげて作った楽譜を、プリントアウトすることもできる。しかも、登録などは一切不要、いつでも無料で使えるのである。

押さえるのが難しいコードだから練習する前に響きを知っておきたいとか、ちょっと出先で作曲したいとか、ギターを弾かないバンド・メンバーに曲の感じを教えたいとか、いろいろな使い方ができるぞ。パソコンからしか使えないが、インターネット環境のある人はぜひ活用してみよう。

◀このようにダイアグラムを打ち込むと……→

◀ジャラ～ンとパソコンからギターの音が出る!

◀作ったコードを何個か登録すれば、自動演奏することもできる。これはサビ-10を打ち込んでみたところ。

◀よく使われるコード進行をプリセットしているので、ワンタッチで呼び出すことができる。本書収録のコード進行も厳選してプリセット!

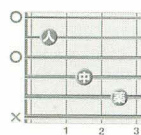
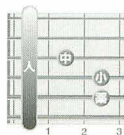
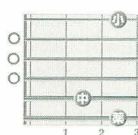
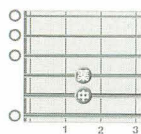
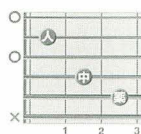
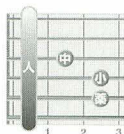
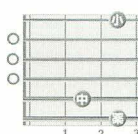
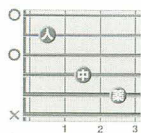
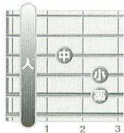
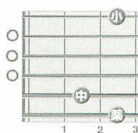
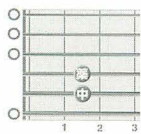
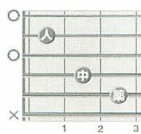
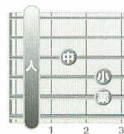
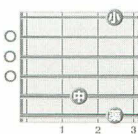
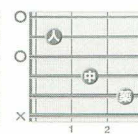
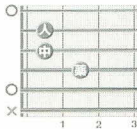
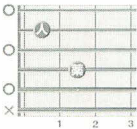
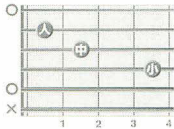
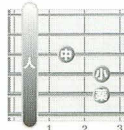
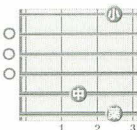
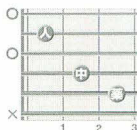
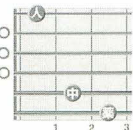
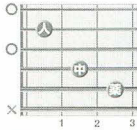
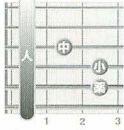
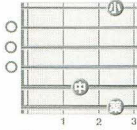
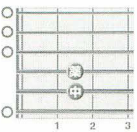
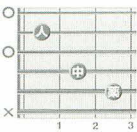
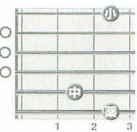
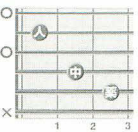
ギター・マガジン・オンライン
http://guitar.digimart.net/

指板図くん
http://guitar.digimart.net/shibanzukun/

こんなに使える本書の実例集

最後に、この本に載っているコード進行をつなげてみた例を紹介しよう。
王道パターンから応用したものまで、さまざまなコード進行が簡単に作れるのだ。

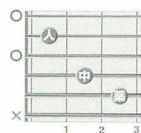
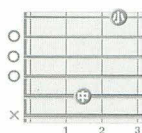
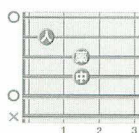
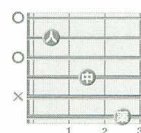
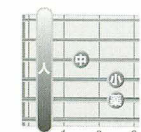
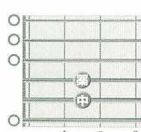
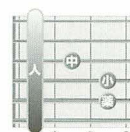
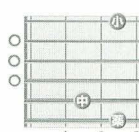
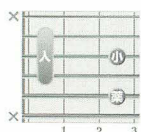
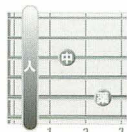
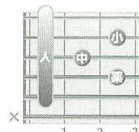
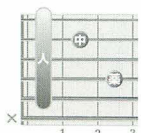
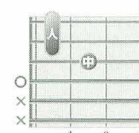
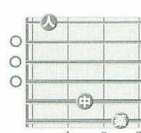
コード進行の実例 その1

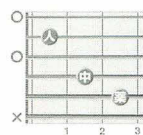
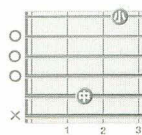
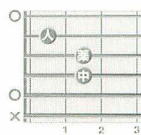
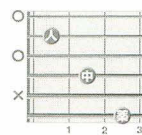
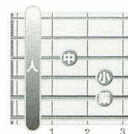
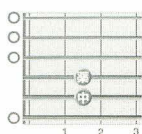
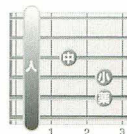
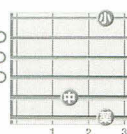
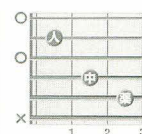
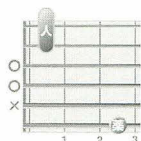
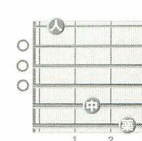
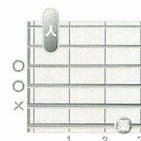
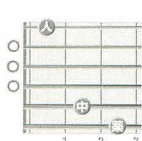
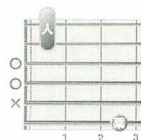
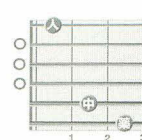
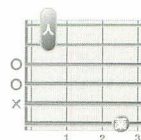
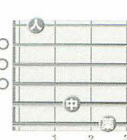
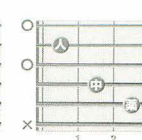
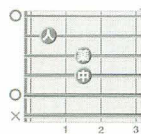
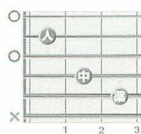
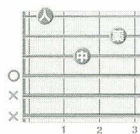
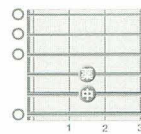
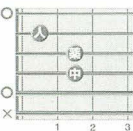
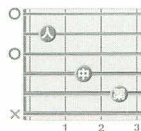
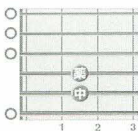
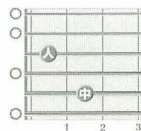
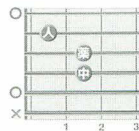
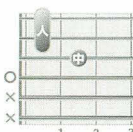
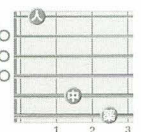
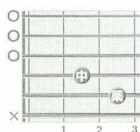
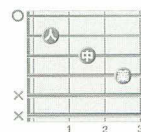
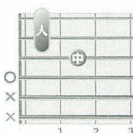
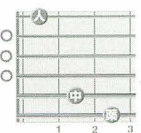
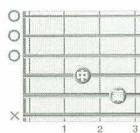
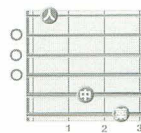
メジャー調における王道的なコード進行

メジャー調における、まさに王道ともいえる選択例。明るさを全面に出したAメロ-01とそれに準じた進行を持つBメロ-01、それに対してサビは前半4小節がマイナー・コード主体なのでガラリと雰囲気が変わる。これで曲にメリハリを生んでいるのだ。

コード進行の実例 その2

マイナー調における典型的なコード進行

マイナー調の典型例。サビの最終小節は、もとは G7sus4 → G7 として掲載しているが、ここでは B メロの Am にスムーズにつながるよう、E7sus4 → E7 に変えた。他のコード進行でも同様に G は E に、G7 は E7 に変えれば、A マイナー調の B メロへスムーズにつながる。

コード進行の実例 その3

サビで"転調"のパターンを使った劇的なコード進行

サビとして"転調"を用い、最後にエンディングをつけてみた例。最初のAメロとBメロはリピートを掛けて合体させてある。サビの部分で転調の進行を用いているので、ここでガラッと雰囲気が変わるのが分かるはず。

コード進行の実例
その4

サビのあとに別のBメロを使い、Cメロにしたコード進行

最後は、“こんなのアリ !?”という例。サビのあとは本来、既出の A メロか B メロに戻るのが一般的だが、ここでは別の B メロを使ってみた。するとこれが C メロとなり、曲に変化をつけられる。他にも、別のサビを持ってきたり(つまりサビが2回)、転調につなげたりしても OK だ。

[ギター・マガジン]
すぐ歌えるコード進行ネタ帳
選んでつなげて5万曲!

2008年4月10日　第1版1刷　発行
2008年7月10日　第1版3刷　発行
ISBN978-4-8456-1541-4
定価(本体1,400円+税)

●著者
石沢功治

●発行所
株式会社リットーミュージック
〒102-0075　東京都千代田区三番町20番地
http://www.rittor-music.co.jp/

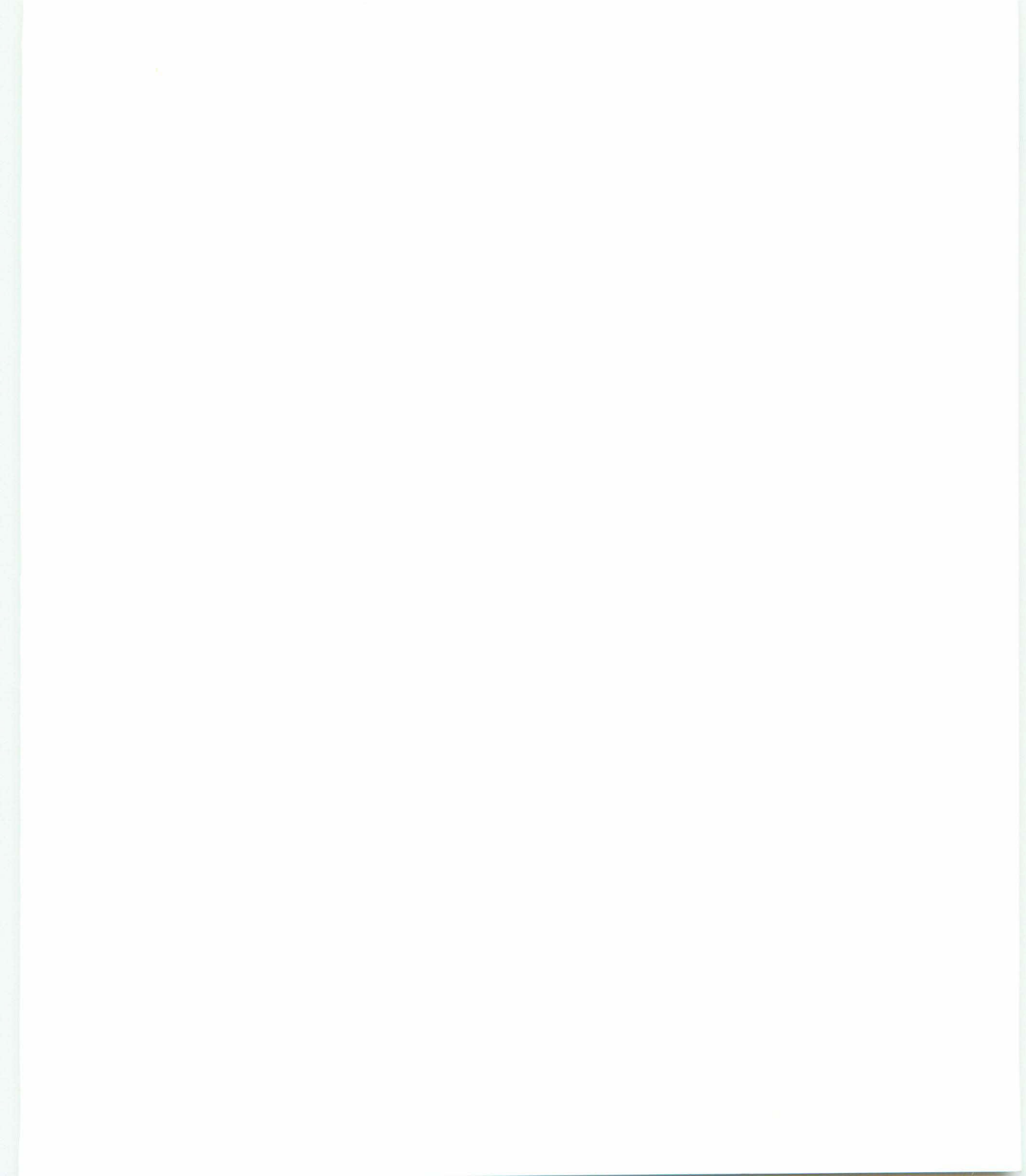
【編集部】
TEL:03-5213-6264　FAX:03-5213-6269
【書店・取次様窓口】出版営業統轄部
TEL:03-5213-6260　FAX:03-5213-6261
【お客様窓口】
リットーミュージック・カスタマーセンター
(商品に関するお問い合わせと電話・FAXでのご注文)
TEL:03-5213-9296　FAX:03-5275-2443
e-mail:info@rittor-music.co.jp

●インプレスダイレクト Rittor Music SQUARE
(インターネットでのご注文)
http://direct.ips.co.jp/book/rm.cfm

●発行人/編集人
古森優
●編集長
三上裕介
●編集担当
橋本修一
●デザイン
柴垣昌寛
● DTP
近藤幸恵(ANTENNNA)
●コード譜浄書
セブンス
●印刷/製本
東京書籍印刷株式会社

Rittor Music
April, 2008
Printed in Japan

著者プロフィール
石沢功治
いしざわ・こうじ

普段はトラディショナルからコンテンポラリーまでのジャズ、及びフュージョン系を中心に取材&執筆している音楽ライター。月刊ギター・マガジン誌にて、全12回(1年)に渡る連載企画『ジャズ・ギタリスト進化論』も手掛けており、その合間をぬう形で、本書を精一杯書き上げさせていただいた。著書に『ジャズ・ギター・コード・ブック』(小社刊)などがある。若干(いや、かなりか?)、食い道楽の気あり。メール・アドレスは seventh@np.catv.ne.jp

イメージで選んで自由に組み合わせられるコード進行135パターン収録!

❶ Aメロのコード進行

明るいコード進行
楽しいコード進行
優しいコード進行
力強いコード進行
夏っぽいコード進行
春っぽいコード進行
期待感を持たせるコード進行
朗らかなコード進行
ちょっと悲しげなコード進行
憂いを含んだコード進行
他、全40パターン

❷ Bメロのコード進行

躍動感のあるコード進行
悲しいコード進行
明け方のようなコード進行
木枯らしのようなコード進行
希望が湧くコード進行
夕暮れ時のようなコード進行
北風のようなコード進行
危険な雰囲気のコード進行
前向きなコード進行
不思議なコード進行
他、全30パターン

❸ サビのコード進行

牧歌的なコード進行
ちょっと大人なコード進行
安定したコード進行
都会的なコード進行
メロドラマのようなコード進行
転がり落ちるようなコード進行
底の見えないコード進行
ピースフルなコード進行
孤独な感じのコード進行
疾走感のあるコード進行
他、全40パターン

❹ 転調するコード進行

とにかく盛り上がるコード進行
幸福感のあるコード進行
自然に転調するコード進行
シャレた感じのコード進行
川の流れのようなコード進行
他、全15パターン

❺ エンディングのコード進行

つながり感のあるコード進行
じわじわ盛り上がるコード進行
せつなさ漂うコード進行
ほのぼのとしたコード進行
目の回るようなコード進行
他、全10パターン

9784845615414

1923073014004

ISBN978-4-8456-1541-4

C3073 ¥1400E

Rittor Music
http://www.rittor-music.co.jp/

定価(本体1,400円+税)

Guitar magazine
すぐ歌えるコード進行ネタ帳
選んでつなげて5万曲!